

芸術学学位プログラム(博士前期課程)

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATT011	西洋美術史-1	1	1.0	1・2	春AB	水2	5C404	武田 一文	西洋古代美術史を中心に、イタリア・ルネサンスまでの作例に言及し、講義を行う。西洋美術史の特徴について考える。とりわけ、ギリシア神話とキリスト教聖書を主題とする作品について講じ、西洋美術史における宗教観、世界観と美術との関係を探る。	西暦偶数年度開講。
OATT012	西洋美術史-2	1	1.0	1・2	秋AB	水2	5C316	武田 一文	西洋近世の北方およびイタリア美術の具体的な作例について多面的に講述する。	西暦偶数年度開講。 対面
OATT021	日本美術史	1	1.0	1・2					日本美術を編年的に理解するため、代表的作例を鑑賞し、各時代の代表作を取り上げ、講述し、作品の生まれた時代背景等、多面的に考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATT031	美術論	1	1.0	1・2					欧米と日本のアーティストコロニー(芸術家村)を取り上げ、芸術家における「場」の問題について考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATT041	芸術教育論-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:芸術教育批評の理論と方法について学び、学校教育における芸術教育実践の理解・解釈・評価と教育方法開発に携わる基礎力を身につける。 授業の概要:テキストに基づいて芸術教育実践の観察批評を実際に行う理論と方法の基礎を学ぶ。図画工作、美術、工芸の各教科の実践について、映像資料や、学校教員を招いての特別講義等を通して理解を深める。 授業計画:(1) 芸術教育批評の考え方と方法1(記述・分析)、(2) 芸術教育批評の考え方と方法2(解釈・主題化)、(3) 芸術教育批評の事例、(4) 映像批評等を活用した学習場面の把握・記述、(5) 映像批評等を活用した学習場面の解釈、(6) 授業実践の例 造形あそび等、(7) 授業実践の例 絵や立体等、(8) 芸術教育批評の視点をういた現象分析の実際、(9) 学校における授業実践の現地観察の方法、(10) 学校における授業実践の現地観察の成果と課題	西暦奇数年度開講。 対面
OATT042	芸術教育論-2	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:芸術教育批評の理論と方法について学び、学校教育における芸術教育実践の理解・解釈・評価と教育方法開発に携わる基礎力を身につける。 授業の概要:図画工作、美術、工芸のいずれかの教科の授業実践を実地に観察し、芸術教育批評の理論と方法を用いて現象を深く分析し、結果を批評として表現する。 授業計画:(1) 授業観察の事前指導、(2) 関連資料の収集と分析、(3) 授業実践における取材、(4) 授業実践の観察記録整理・分析、(5) 教師と学習者の相互影響の検討、(6) 学習者間の相互影響の検討、(7) 芸術活動の特質に注目した現象の理解(教師の視点から)、(8) 芸術活動の特質に注目した現象の理解(学習者の視点から)、(9) 解釈と主題化に関する議論、(10) 芸術教育批評の公開と議論	西暦奇数年度開講。 対面
OATT051	美術技法論-1	1	1.0	1・2					洋画および版画の表現内容や表現方法、構想、技法材料について分析・論述する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATT052	美術技法論-2	1	1.0	1・2	春AB	水1		大原 央聡, 太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之, 宮坂 慎司, 川島 史也, 諏訪 智美	授業の到達目標及びテーマ:美術(日本画・彫塑)における表現技法について歴史的、理論的に分析等を行うことにより、表現方法及び技術についての実用的な応用力をつけ、多様な対応ができるようにする。 授業の概要:美術の表現方法について、歴史的、理論的に分析を行う。	西暦偶数年度開講。
OATT061	書論	1	3.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:書論に対する基礎的な知識を身に付けるとともに、書論史研究の方法について理解を深め、関連する諸問題を包括的に検討する力を培う。 授業の概要:書の研究における書論の位置を理解し、書論を講読する際の文献学的な知識を習得する。更に中国書論を中心に幾つかの文献を実際に講読し、そこで論じられる主な内容を多角的に考察する。 授業計画:(1) (2) 書論研究の基本的な考え方、(3)~(15) 文献講読、(16) (17) 書論文献と書誌学、(18)~(29) 文献講読、(30) 学習のまとめ	西暦奇数年度開講。 対面

OATT071	書鑑賞論	1	3.0	1・2	夏季休業 中 秋AB 秋C	集中 水2 火2	芸術 B539	菅野 智明	授業の到達目標及びテーマ:書の鑑賞・鑑定に対する基本的な知識を身に付けるとともに、書の鑑賞・鑑定をめぐる学術的な方法について理解を深め、実践的な鑑賞力を培う。 授業の概要:学術研究を念頭に置いた書の鑑賞・鑑定をめぐる基本的な考え方やその方法を身に付け、実際の書の作例に基づく鑑賞・鑑定の実践を積み重ねる。 授業計画:(1)(2)書の鑑賞・鑑定の基本的な考え方、(3)(4)書跡本体の鑑定、(5)(6)鑑定の傍証、(7)~(30)歴代の遺品に対する鑑定	西暦偶数年度開講。 対面
OATT081	ダイナミックインタラクションデザイン演習	2	1.0	1・2	秋AB	火3	総合研 究棟 D306	李 昇姫, 村上 史明	授業の到達目標及びテーマ:情報・プロダクト・メディアアートを融合した、オブジェによるインタラクション設計の基礎を習う。人間の感情、判断の根源となる感性的な行動をハイテック電子技術や形の素材の仕組みを利用したローテックを用い、創造的インタラクション設計を行う。 授業の概要:グループワークショップ形式でのプロトタイプングを行う。 授業計画:(1) 課題説明 チーム構成、(2) プレゼンテーション、発表、(3) 先行事例の研究、テーマ設定およびアイデア展開、(4) 仕組みなどの具体案の設計、(5) 中間発表、(6) モデル制作、(7) モデル制作、(8) モデル制作、(9) シミュレーション映像撮影、(10) 最終プレゼンテーション	対面
OATT091	インターンシップ	3	1.0	1・2	通年	随時		山本 美希, 直江 俊雄, 橋本 剛	授業の到達目標及びテーマ:企業などの一般社会における美術・デザイン分野に関わる業務の体験を行い、美術・デザイン分野における実践的、実質的あるいは実務的な能力を学ぶ。 授業の概要:企業などの一般社会において美術・デザイン分野に関わる業務の体験を行い、インターンシップ研修での実務経験等に関する報告書を提出する。 授業計画:企業などの一般社会における美術・デザイン分野に関わる業務の説明・解説を踏まえて、現場での実習を行う。 1)企業などによる美術・デザイン分野に関わる業務の説明・解説を受講する。 2)企業などにおいて、インターンシップ研修を行う。 3)インターンシップを行った企業などで経験した実務内容等に関する報告書を提出する。報告書にはインターンシップを行った企業などによる評価を含める。	対面

専門科目【美術史領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTA01	西洋近世美術史特講I-1	1	1.0	1・2					西洋近世美術史における特定課題に関する講義。「受難伝」の図像を分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA02	西洋近世美術史特講I-2	1	1.0	1・2					西洋近世美術史における特定課題に関する講義。キリストの生涯をめぐる図像を分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA03	西洋近世美術史特講II-1	1	1.0	1・2	春AB	火5	芸術 B339	寺門 臨太郎	西洋近世美術史の特定課題に関する講義。15世紀ネーデルラント絵画を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。
OATTA04	西洋近世美術史特講II-2	1	1.0	1・2	秋AB	火5	芸術 B339	寺門 臨太郎	西洋近世美術史の特定課題に関する講義。16世紀ネーデルラント絵画を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTA05	西洋近世美術史演習I-1	2	1.0	1・2					西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西欧近世の美術を多角的に考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA06	西洋近世美術史演習I-2	2	1.0	1・2					西洋近世ないし近代美術史における特定課題に関する演習。西欧近世ないし近代の美術を多角的に考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA07	西洋近世美術史演習II-1	2	1.0	1・2	春AB	火6	芸術 B339	寺門 臨太郎	西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西欧近世の美術コレクションを多角的に考察する。	西暦偶数年度開講。
OATTA08	西洋近世美術史演習II-2	2	1.0	1・2	秋AB	火6	芸術 B339	寺門 臨太郎	西洋美術史における特定課題に関する演習。近代における西欧近世美術の展示を多角的に考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTA11	近・現代美術論特講I-1	1	1.0	1・2					近・現代美術における特定課題に関する講義。本授業では「美術における身体」をテーマに講述する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA12	近・現代美術論特講I-2	1	1.0	1・2					近・現代美術における特定課題に関する講義。本授業では「国家を表象する女神像」をテーマに講述する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA13	近・現代美術論特講II-1	1	1.0	1・2	春AB	木3	芸術 B339	林 みちこ	近・現代美術における特定課題に関する講義。「日本近代美術史と省庁、官僚」をテーマとする。	西暦偶数年度開講。

OATTA14	近・現代美術論特講II-2	1	1.0	1・2	秋AB	木3	芸術 B339	林 みちこ	近・現代美術における特定課題に関する講義。「日本近代美術史における《地域美術史》」をテーマとする。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTA15	近・現代美術論演習I-1	2	1.0	1・2					近・現代美術史における特定の課題に関する演習。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA16	近・現代美術論演習I-2	2	1.0	1・2					美術史用語や内容について註釈を付け、解題の充実した現代日本語による翻訳を完成させることを目指す。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA17	近・現代美術論演習II-1	2	1.0	1・2	春AB	木4	芸術 B339	林 みちこ	近・現代美術史における特定の課題に関する演習。各自の見解を明確にした上で最新の研究成果をふまえた発表を求める。	西暦偶数年度開講。
OATTA18	近・現代美術論演習II-2	2	1.0	1・2	秋AB	木4	芸術 B339	林 みちこ	美術史用語や内容について註釈を付け、解題の充実した現代日本語による翻訳を完成させることを目指す。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTA21	西洋古代美術史特講I-1	1	1.0	1・2					西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA22	西洋古代美術史特講I-2	1	1.0	1・2					西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA23	西洋古代美術史特講II-1	1	1.0	1・2	春AB	火3	芸術 B339	長田 年弘, 武田 一文	西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。	西暦偶数年度開講。
OATTA24	西洋古代美術史特講II-2	1	1.0	1・2	秋AB	火3	芸術 B339	長田 年弘, 武田 一文	西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTA25	西洋古代美術史演習I-1	2	1.0	1・2					西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と宗教について、特に公的な建造物、神殿と附属彫刻を主題として設定する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA26	西洋古代美術史演習I-2	2	1.0	1・2					西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と宗教について、特に私的な領域、奉納記念物と葬礼美術を主題として設定する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA27	西洋古代美術史演習II-1	2	1.0	1・2	春AB	火4	芸術 B339	長田 年弘, 武田 一文	西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と社会について、アルカイックからクラシック期の、僭主政治から民主政成立期にかけての政治体制と美術を主題として設定する。	西暦偶数年度開講。
OATTA28	西洋古代美術史演習II-2	2	1.0	1・2	秋AB	火4	芸術 B339	長田 年弘, 武田 一文	西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と社会について、クラシック期からヘレニズム期にかけての美術を主題として設定する。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTA31	日本美術史特講I-1	1	1.0	1・2					編年的に日本美術の代表作を鑑賞し、その特性を探り、研究的な視点を構築する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA32	日本美術史特講I-2	1	1.0	1・2					編年的に日本美術の代表作を鑑賞し、その特性を探り、研究的な視点を構築する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA33	日本美術史特講II-1	1	1.0	1・2	春AB	木5	芸術 B339	水野 裕史	近世初頭の風俗画から浮世絵の成立、大正新版画までを対象に代表作を通して、我が国を代表する浮世絵を考察する。	西暦偶数年度開講。
OATTA34	日本美術史特講II-2	1	1.0	1・2	秋AB	木5	芸術 B339	水野 裕史	仏教美術の諸相を代表作品を通して鑑賞し、時代様式について考える。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTA35	日本美術史演習I-1	2	1.0	1・2					任意の主題(実際の文献史料)を調査し、研究視点を構築する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA36	日本美術史演習I-2	2	1.0	1・2					任意の主題(文献史料)を講読し、研究視点を構築する。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTA37	日本美術史演習II-1	2	1.0	1・2	春AB	木6	芸術 B339	水野 裕史	任意の主題(実際の作品)を調査し、研究視点を構築する。	西暦偶数年度開講。
OATTA38	日本美術史演習II-2	2	1.0	1・2	秋AB	木6	芸術 B339	水野 裕史	任意の主題(実際の作品)を調査し、研究視点を構築する。	西暦偶数年度開講。 対面

OATTA41	美術史学外演習I	2	2.0	1	秋ABC	随時		林 みちこ, 水野裕史, 長田 年弘, 寺門 臨太郎, 武田 一文	学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のプラクティカルな研究方法を演習する。	その他の実施形態
OATTA42	美術史学外演習II	2	2.0	2	秋ABC	随時		林 みちこ, 水野裕史, 長田 年弘, 寺門 臨太郎, 武田 一文	学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のプラクティカルな研究方法を演習する。	その他の実施形態

専門科目【芸術支援領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTB01	芸術支援学学外演習A-1	2	1.0	1	通年	随時		直江 俊雄, 石崎和宏, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わる運営の実際について、現地調査をもとに多角的に理解する力を付ける。 授業の概要:芸術支援に関わる運営の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。 授業計画:(1)芸術支援に関わる現場の検討:美術館、美術ギャラリー、(2)芸術支援に関わる現場の検討:野外現代美術展会場、芸術祭、(3)実地調査対象の決定と調査方針の検討、(4)分担による事前調査、(5)事前調査結果の発表、(6)訪問計画の作成、(7)現地調査(観察と記録)、(8)現地調査(インタビューと意見交換)、(9)現地調査(各自テーマの探究)、(10)調査結果の報告と討議	対面
OATTB02	芸術支援学学外演習A-2	2	1.0	2	通年	随時		直江 俊雄, 石崎和宏, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わる運営の実際について、現地調査をもとに多角的に理解する力を付ける。 授業の概要:芸術支援に関わる運営の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。また学外演習の運営への参加も芸術支援の訓練としてとらえ、参加者が効果的な学習ができるよう工夫し貢献する。 授業計画:(1)芸術支援に関わる現場の検討:学校教育、美術館教育、(2)芸術支援に関わる現場の検討:アートとコミュニティ、アートと社会参加、(3)実地調査対象の決定と調査方針の検討、(4)分担による事前調査、(5)事前調査結果の発表、(6)訪問計画の作成、(7)現地調査(観察と記録)、(8)現地調査(インタビューと意見交換)、(9)現地調査(各自テーマの探究)、(10)調査結果の報告と討議	対面
OATTB03	芸術支援学学外演習B-1	2	1.0	1	通年	随時		直江 俊雄, 石崎和宏, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わる実践と研究について、現地調査をもとに深く理解する力を付ける。 授業の概要:芸術支援に関わる実践と研究の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。 授業計画:(1)芸術支援に関わる現場の検討:授業公開研究会、(2)芸術支援に関わる現場の検討:ワークショップ、(3)実地調査対象の決定と調査方針の検討、(4)分担による事前調査、(5)事前調査結果の発表、(6)訪問計画の作成、(7)現地調査(観察と記録)、(8)現地調査(インタビューと意見交換)、(9)現地調査(各自テーマの探究)、(10)調査結果の報告と討議	対面
OATTB04	芸術支援学学外演習B-2	2	1.0	2	通年	随時		直江 俊雄, 石崎和宏, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わる実践と研究について、現地調査をもとに深く理解する力を付ける。 授業の概要:芸術支援に関わる実践と研究の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。また学外演習の運営への参加も芸術支援の訓練としてとらえ、参加者が効果的な学習ができるよう工夫し貢献する。 授業計画:(1)芸術支援に関わる現場の検討:学術研究会、(2)芸術支援に関わる現場の検討:リサーチフォーラム、(3)実地調査対象の決定と調査方針の検討、(4)分担による事前調査、(5)事前調査結果の発表、(6)訪問計画の作成、(7)現地調査(観察と記録)、(8)現地調査(インタビューと意見交換)、(9)現地調査(各自テーマの探究)、(10)調査結果の報告と討議	対面

OATTB11	芸術教育方法論A-1	1	1.0	1・2	春AB	木4	芸術 B139	直江 俊雄	授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する研究の多様なアプローチを理解し、各自の研究手法確立へ向けての準備とする。 授業の概要:主として現代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、比較教育の視点からの探究事例を論じる。 授業計画:(1) 美術教育の比較研究(日本)、(2) 美術教育の比較研究(英国ほか)、(3) デザイン教育の比較研究(日本)、(4) デザイン教育の比較研究(英国ほか)、(5) 工芸教育の比較研究(日本)、(6) 工芸教育の比較研究(英国ほか)、(7) 鑑賞教育の比較研究(日本)、(8) 鑑賞教育の比較研究(英国ほか)、(9) 教員養成の比較研究(日本)、(10) 教員養成の比較研究(英国ほか)	西暦偶数年度開講。
OATTB12	芸術教育方法論A-2	1	1.0	1・2	秋AB	木4	芸術 B139	吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する研究の多様なアプローチを理解し、各自の研究手法確立へ向けての準備とする。 授業の概要:主として現代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、より適切な解釈を提示できる能力の育成を目指して、文献資料の収集と整理、解説、要約、問題点の提示、討論、論述などを行う。 授業計画:(1) 研究データベースについて(国内の事例)、(2) 研究データベースについて(海外の事例)、(3) 学術論文のレビューについて、(4) 国内の主要な研究動向、(5) 海外の主要な研究動向、(6) 研究目的、方法、結果の相互関連、(7) 関連研究の把握と独自性の探究、(8) 調査方法の概観、(9) 調査方法の信頼性と妥当性、(10) プレゼンテーション技法	西暦偶数年度開講。 対面
OATTB13	芸術教育方法論B-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する史的探究の事例を中心に、芸術教育に関する主要な研究方法を理解し、各自の研究手法確立へ向けての準備とする。 授業の概要:近代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、主として19世紀後半から現在までの英国における中等教育の変革を事例として論じる。 授業計画:(1) 芸術教育方法研究の概観(美術思想とのかかわり)、(2) 芸術教育方法研究の概観(教育思想とのかかわり)、(3) 芸術教育方法研究の概観(社会的諸制度とのかかわり)、(4) 芸術教育方法研究の概観(理念と方法論の関係)、(5) 芸術教育方法研究の概観(成果と課題)、(6) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの基本理念)、(7) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの方法論)、(8) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの方法論)、(9) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの成果)、(10) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの課題)	西暦奇数年度開講。 対面
OATTB14	芸術教育方法論B-2	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する史的探究の事例を中心に、芸術教育に関する主要な研究方法を理解し、各自の研究手法確立へ向けての準備とする。 授業の概要:近代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、芸術思想、教育思想、社会的諸制度などの背景を含めて理解し、その探究から導かれる諸問題について多角的に考察する。 授業計画:(1) 研究課題と方法の設定(テーマの選択)、(2) 研究課題と方法の設定(テーマと方法の妥当性の検討)、(3) 研究課題と方法の設定(研究の構造化)、(4) 研究課題と方法の設定(全体構想の図式化)、(5) 資料収集と分析(収集法)、(6) 資料収集と分析(先行研究の成果)、(7) 資料収集と分析(先行研究の限界)、(8) 資料収集と分析(研究の位置づけの明確化)、(9) 資料解釈と論文構成(問題の所在)、(10) 資料解釈と論文構成(目的の明確化)	西暦奇数年度開講。 対面

OATTB21	芸術学習支援論A	4	2.0	1・2	春ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:ビジュアル・シンキング・ストラテジーの理論と方法を理解し、学習活動を支援する基礎力を身につける。 授業の概要:美術館や学校における学習者中心の鑑賞学習を促す代表的な方法であるビジュアル・シンキング・ストラテジーの理論と方法、その指導者育成について学ぶ。 授業計画:(1) ビジュアル・シンキング・ストラテジーの概要、(2) 美的発達段階の研究(Aesthetic Development Interview)、(3) 美的発達段階論(説明する鑑賞者、構成する鑑賞者)、(4) 美的発達段階論(分類する鑑賞者、解釈する鑑賞者、再創造する鑑賞者)、(5) 幼児の学習支援の考え方、教材と方法、(6) 小学校低学年の学習支援の考え方、教材と方法、(7) 小学校中・高学年の学習支援の考え方、教材と方法、(8) 中等教育以降における学習支援の考え方、教材と方法、(9) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジの立案)、(10) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジの行動プラン策定)、(11) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジでのファシリテーション)、(12) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジでのVSTの位置づけ)、(13) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジの実践)、(14) 子ども対象の実地演習の評価(子ども・アート・ラウンジの成果)、(15) 子ども対象の実地演習の評価(今後の課題)、(16) VTSコーチングの基礎、(17) VTSコーチングの実地演習(受容的態度)、(18) VTSコーチングの実地演習(行動の理解)、(19) VTSコーチングの実地演習(集団における啓発)、(20) VTSコーチングの実地演習(改善への示唆)	西暦偶数年度開講。 対面
OATTB22	芸術学習支援論B	4	2.0	1・2				授業の到達目標及びテーマ:ビジュアル・シンキング・ストラテジーの理論と方法を理解し、学習活動を支援する基礎力を身につける。 授業の概要:美術館や学校における学習者中心の鑑賞学習を促す代表的な方法であるビジュアル・シンキング・ストラテジーの理論と方法について学ぶ。 授業計画:(1) ビジュアル・シンキング・ストラテジーの考え方、(2) ビジュアル・シンキング・ストラテジーの方法、(3) ビジュアル・シンキング・ストラテジーの活用、(4) 学習支援の考え方と実際、(5) ファシリテーション技法(基本質問の理解)、(6) ファシリテーション技法(パラフレーズの理解)、(7) ファシリテーション技法(パラフレーズの応用)、(8) ファシリテーション技法(動作)、(9) ファシリテーション技法(態度)、(10) ファシリテーション技法(リンク)、(11) ビデオ実地演習(教材の検討)、(12) ビデオ実地演習(技法の習得)、(13) ビデオ実地演習の評価、(14) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジの立案)、(15) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジの行動プラン策定)、(16) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジでのファシリテーション)、(17) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジでのVSTの位置づけ)、(18) 子ども対象の実地演習(子ども・アート・ラウンジの実践)、(19) 子ども対象の実地演習の評価(子ども・アート・ラウンジの成果)、(20) 子ども対象の実地演習の評価(今後の課題)	西暦奇数年度開講。 対面
OATTB31	芸術支援ワークショップ1	2	1.0	1・2	通年	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わるワークショップに参加し、芸術支援活動の対象、方法、評価、意義、ならびに社会との関わりについて多角的に考える力を付ける。 授業の概要:美術・デザイン・工芸など芸術に関わる高校生のエッセイコンテスト「高校生アートルライター大賞」に学生選考委員として参加し、アートルライティング教育の実践を支援しながら、芸術支援における言葉の役割を考える。 授業計画:(1) 日本の美術・デザイン・工芸教育の特色と課題、(2) 日本と英国の中等美術教育におけるアートルライティングの比較、(3) アートルライティング教育の意義と方法、(4) 高校生アートルライター大賞の目的、歴史、運営、(5) 高校生アートルライター大賞の選考基準、(6) 過去受賞作品の検討、(7) 選考過程リハーサル、(8) 第一次選考作品の検討、(9) 第一次選考作品の評価、(10) 本授業の成果と課題	対面

OATTB32	芸術支援ワークショップII	2	1.0	1・2	通年	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わるワークショップに参加し、芸術支援活動の対象、方法、評価、意義、ならびに社会との関わりについて多角的に考える力を付ける。 授業の概要:美術・デザイン・工芸など芸術に関わる高校生のエッセイコンテスト「高校生アートライター大賞」に学生選考委員として参加し、アートライティング教育の実践を支援しながら、芸術教育における言葉の役割を考える。 授業計画:(1)「制作体験」のアートライティングと美術・デザイン・工芸の学習における「表現」、(2)「作品探究」のアートライティングと美術・デザイン・工芸の学習における「鑑賞」、(3)「芸術支援」のアートライティングと美術・デザイン・工芸の学習の社会的視点、(4)高校生アートライター大賞の参加者の意識、(5)高校生アートライター大賞に参加した指導者の意識、(6)選考過程リハーサル、(7)第二次選考作品の検討、(8)第二次選考作品の評価、(9)筑波大学学生賞の選考、(10)本授業の成果と課題	対面
OATTB33	芸術支援ワークショップIII	2	1.0	1・2	通年	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わるワークショップに参加し、芸術支援活動の対象、方法、評価、意義、ならびに社会との関わりについて多角的に考える力を付ける。 授業の概要:美術・デザイン・工芸など芸術に関わる高校生のエッセイコンテスト「高校生アートライター大賞」に学生選考委員として参加し、アートライティング教育の実践を支援しながら、芸術教育における言葉の役割を考える。 授業計画:(1)オリエンテーション、(2)ワークショップ活動の企画、(3)アートライティング学習の評価方法、(4)アートライティング学習の奨励方法、(5)アートライティング学習支援の実際、(6)アートライティング学習支援メッセージの作成、(7)アートライティング学習による交流支援の計画、(8)アートライティング学習による交流支援の実施、(9)アートライティング学習による交流支援の評価、(10)本授業の成果と課題	対面
OATTB41	芸術学習支援演習A	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの方法を学ぶ。 授業の概要:美術館や学校における学習者中心の鑑賞学習を促す代表的な方法であるビジュアル・シンキング・ストラテジーの理論と方法について学ぶ。 授業計画:(1)ビジュアル・シンキング・ストラテジーにおけるコーチングの考え方、(2)ビジュアル・シンキング・ストラテジーにおけるコーチングの方法、(3)ビジュアル・シンキング・ストラテジーにおけるコーチングの活用、(4)コーチングの実際、(5)コーチング技法(基本質問の理解)、(6)コーチング技法(パラフレーズの理解)、(7)コーチング技法(パラフレーズの応用)、(8)コーチング技法(動作)、(9)コーチング技法(態度)、(10)コーチング技法(リンク)、(11)コーチングの実地演習(学習プログラムの検討)、(12)コーチングの実地演習(行動プラン策定)、(13)コーチングの実地演習(教材の選定)、(14)コーチングの実地演習(演習授業での指導実践)、(15)コーチングの実地演習(指導実践の振り返り)、(16)コーチングの実地演習(指導実践の改善)、(17)コーチングの実地演習(グループワークの指導実践)、(18)コーチングの実地演習(学習者からの振り返り)、(19)コーチングの実地演習の評価(学習者の達成状況)、(20)コーチングの実地演習の評価(今後の課題)	西暦偶数年度開講。 対面

OATTB42	芸術学習支援演習B	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの考え方や技法を実地に応用する。 授業の概要:美術館や学校における学習者中心の鑑賞学習を促す代表的な方法であるビジュアル・シンキング・ストラテジーを初心者に指導するためのコーチングの考え方や技法を実地に身につける。 授業計画:(1) コーチングとファシリテーション、(2) ビジュアル・シンキング・ストラテジーにおけるコーチングの適用上の課題、(3) ビジュアル・シンキング・ストラテジーにおけるコーチングの発展、(4) コーチングの実地応用、(5) コーチング技法(視線の活用)、(6) コーチング技法(高度なパラフレーズ)、(7) コーチング技法(作品テーマに応じたパラフレーズ)、(8) コーチング技法(身体性)、(9) コーチング技法(表情)、(10) コーチング技法(中立性の保持)、(11) コーチングの実地演習(作品の配列)、(12) コーチングの実地演習(学習者への導入)、(13) コーチングの実地演習(想定と実際)、(14) コーチングの実地演習(テーマ別演習)、(15) コーチングの実地演習(知識の活用)、(16) コーチングの実地演習(語彙の検討)、(17) コーチングの実地演習(相互作用)、(18) コーチングの実地演習(肯定と励まし)、(19) コーチングの実地演習の評価(課題の共有)、(20) コーチングの実地演習の評価(改善提案)	西暦奇数年度開講。 対面
---------	-----------	---	-----	-----	--	--	--	--	---	-----------------

専門科目【洋画領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTC01	洋画技法論特講	1	1.0	1・2	春AB	木1	6A410-1, 6A410-3	仏山 輝美	授業の到達目標及びテーマ:絵画・西洋絵画の様式について理解し、技法上の特性について学ぶ。 授業の概要:絵画・西洋絵画の様式について理解し、技法上の特性について分析、論述する。 授業計画:(1) 絵画の形式について-絵画の物理的性質と表現、(2) 絵画の形式について-絵画の観念的性質と表現、(3) 絵画における造形上の基本的要素について、(4) 西洋絵画の様式について1 クラシック、フィレンツェ・ライン、(5) 西洋絵画の様式について2 バロック、ベネチア・ライン、(6) 絵画の様式について3 技法・材料と様式、(7) 絵画空間の構造について1 遠近法、(8) 絵画空間の構造について2 前景、中景、後景、(9) 絵画空間の構造について3 プランの分離体系、(10) 現代における絵画表現の意義と独自性について	対面
OATTC11	西洋美術技法演習-1	2	2.0	1・2	春AB	木4, 5	6A410-1, 6A410-3	内藤 定壽, 仏山 輝美	授業の到達目標及びテーマ:技法・材料実験ならびに制作実践を通して、洋画に関する技法を習得する。 授業の概要:西洋絵画を中心に、古典から現代に及ぶ様々な作品例・技法例を示し絵画制作にかかわる多様な表現方法について講じる。	対面
OATTC12	西洋美術技法演習-2	2	2.0	1・2	秋AB	木4, 5	6A410-1, 6A410-3	福満 正志郎, 星 美加	技法・材料実験ならびに制作実践を通して、洋画に関する技法を習得する。 西洋絵画を中心に、古典から現代に及ぶ様々な作品例・技法例を示し絵画制作にかかわる多様な表現方法について講じる。	対面
OATTC21	洋画制作A-1	3	2.0	1	春ABC	月4, 5, 集中	6A410-1, 6A410-3	内藤 定壽	授業の到達目標及びテーマ: ・ 戸外での風景画制作、モチーフに基づく静物画および人体モデルに基づく人物画の制作に取り組み、観念的な表現ではなく、主体的な表現意図を持ちつつも客観的な描写力と表現力に支えられた画力を身につける。 ・ 制作実践を通して、絵画技法について理解し、実践する。 ・ 制作実践を通して、画家として自立的に活動するための基本的な専門知識・技法、並びに柔軟な発想力・構想力を身につける。 授業の概要:風景画、静物画、人物画の制作に取り組み、画家として表現活動を展開するための基本的な態度と画力を養成する。 授業計画:(1) ガイダンス、(2)~(6) 風景画制作、(7)~(9) 人物写生、(10)~(14) 作品制作1(自由課題)、(15)~(19) 作品制作2(自由課題)、(20) 作品講評、授業のまとめ	対面

OATTC22	洋画制作A-2	3	1.0	1	秋AB	月4.5	6A410-1, 6A413	内藤 定壽	授業の到達目標及びテーマ: ・人体モデルに基づく人物画(もしくは構想画)の制作に取り組み、観念的な表現ではなく、主体的な表現意図を持ちつつも客観的な描写力と表現力に支えられた画力を身につける。 ・作品制作を通して、絵画技法について理解し、実践する。 ・制作実践を通して、画家として自立的に活動するための基本的な専門知識・技法、並びに柔軟な発想力・構想力を身につける。 授業の概要: 構想に基づく人物画の制作に取り組み、画家として表現活動を展開するための基本的な絵画技術と描画力を養成する。 授業計画: (1) ガイダンス、(2)~(5) 人物写生(裸婦モデル)、(6)~(9) 人物写生にもとづく作品制作(自由課題)、(10) 作品講評、授業のまとめ	洋画制作A-1を履修済みであること。 対面
OATTC23	洋画制作B-1	3	2.0	1	春ABC	火2.3, 集中	6A410-1, 6A413	仏山 輝美	人体および静物の写生に基づく課題作品制作、自らの構想に基づく自主制作作品の制作に取り組み、絵画制作実践にかかわる画力、表現力を高める。	対面
OATTC24	洋画制作B-2	3	1.0	1	秋AB	火2.3	6A410-1, 6A413	仏山 輝美	人体の写生に基づく課題作品制作、自らの構想に基づく自主制作作品の制作に取り組み、絵画制作実践にかかわる画力、表現力をより一層高めると同時に、個々に独自の制作方法論を模索する。	対面
OATTC25	洋画制作C-1	3	2.0	1	春ABC	木2.3, 集中	6A410-1, 6A413	福満 正志郎	授業の到達目標及びテーマ: ・野外での風景画制作、モチーフに基づく静物画および人体モデルに基づく人物画の制作に取り組み、観念的な表現ではなく、主体的な表現意図を持ちつつも客観的な描写力と表現力に支えられた画力を身につける。 ・制作実践を通して、構想と表現内容、構想と表現方法の連関について理解し、実践する。 ・制作実践を通して、画家として自立的に活動するための基本的な専門知識・技法、並びに柔軟な発想力・構想力を身につける。 授業の概要: 風景画、静物画、人物画の制作に取り組み、画家として表現活動を展開するための基本的な態度と画力を養成する。特に、構想の表現効果に着目した描画方法と画面構成について指導する。 授業計画: (1) ガイダンス、(2)~(3) 風景画制作、(4)~(6) 静物画制作、(7)~(9) 人物写生(裸婦モデル)、(10) 作品制作1 各自の設定したテーマに基づき独自の構想的表現を試みる、(11)~(14) 作品制作1(自由課題)、(15)~(19) 作品制作2(自由課題)、(20) 作品講評、授業のまとめ	対面
OATTC26	洋画制作C-2	3	1.0	1	秋AB	木2.3	6A410-1, 6A413	福満 正志郎	授業の到達目標及びテーマ: ・人体モデルに基づく人物画(もしくは構想画)の制作に取り組み、観念的な表現ではなく、主体的な表現意図を持ちつつも客観的な描写力と表現力に支えられた画力を身につける。 ・作品制作を通して、構想と表現内容、構想と表現方法の連関について理解し、実践する。 ・制作実践を通して、画家として自立的に活動するための基本的な専門知識・技法、並びに柔軟な発想力・構想力を身につける。 授業の概要: 構想に基づく人物画の制作に取り組み、画家として表現活動を展開するための基本的な態度と画力を養成する。特に、独自の構想的表現の拡大、表現意図の確認等によって、制作の向上を目指し指導する。 授業計画: (1) ガイダンス、(2) 作品展示、作品講評、(3)~(5) 人物写生(裸婦モデル)、(6)~(9) 人物写生に基づく作品制作(自由課題)、(10) 作品講評、授業のまとめ	対面
OATTC27	洋画制作D-1	3	2.0	1	春ABC	金2.3, 集中	6A410-1, 6A413	星 美加	戸外での風景画制作、静物画および人体モチーフをテーマに絵画制作を行う。多様なモチーフを対象とした制作によって、特に油彩表現の特性と構図と形態の表現効果に着目した描画方法を具体的に体験し、受講生各自が独自の構想に基づく表現へ展開する契機とする。 秋学期開催の学外における作品展示(つくば美術館)にむけて、作品資料等の収集、技法研究、構想の錬磨等、同時並行的におこないながら、独自の表現を目指す。	対面
OATTC28	洋画制作D-2	3	1.0	1	秋AB	金2.3	6A410-1, 6A413	星 美加	人体および選択されたモチーフによる油絵制作を行う。特に形態について、個別に指導する。本学期開催の学外における作品展示(つくば美術館)にむけて、作品資料等の収集、技法研究、構想の錬磨等、同時並行的におこないながら、独自の表現を目指す。	対面

OATTC31	洋画特別制作A-1	3	2.0	1・2	春ABC	月2,3,集中	6B404,6B405	仏山 輝美	<p>授業の到達目標及びテーマ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自、表現のテーマやねらいに沿って作品を構想し、絵画表現を構築する手法を学ぶ。 ・自らの作品における色彩(色料)の表現効果を分析し、その傾向と独自性を把握して絵画表現を展開する力を身につける。 ・制作実践を通して、画家として自立的に活動するための独自の制作方法を確立する。 <p>授業の概要:絵画表現の独自性を理解し、表現の主題と内容をしっかりと見据えて造形し発信する態度を養成する。また、作品の自主制作と発表を促し、対外的な評価の獲得によって活動の基盤を形成できるよう助言する。</p> <p>授業計画:(1) ガイダンス、(2)~(6) 作品制作1~5、制作方法論の構築を見据えた制作実践とその評価、(7)~(10) 作品制作6~9 自作作品の色彩分析を踏まえた制作実践、(11)~(14) 作品制作10~13 参考作品の色彩分析を踏まえた制作実践、(15)~(17) 作品制作14~16 色彩・色料に着目した作品展開のための制作実践、(18)~(19) 作品制作17~18 表現主題と色彩の連関に着目した作品展開のための制作実践、(20) 作品講評</p>	対面
OATTC32	洋画特別制作A-2	3	1.0	2	秋AB	月2,3	6B404,6B405	仏山 輝美	<p>授業の到達目標及びテーマ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自、表現のテーマやねらいに沿って作品を構想し、絵画表現を構築する手法を確立する。 ・自らの作品制作において色彩(色料)の表現効果をさらに発展させ、独自の絵画表現を展開する力を育てる。 ・制作実践を通して、画家として自立的に活動するための独自の制作方法論を構築する。 <p>授業の概要:高度な描画力と専門知識を活かした独自の絵画表現を実現するために、受講者個々の表現内容および描画方法について助言・指導を行う。また、作品の制作と発表を促し、対外的な評価の獲得によって活動の基盤を形成できるよう助言する。</p> <p>授業計画:(1) ガイダンス、(2) 作品制作1 絵画空間と色彩、(3) 作品制作2 形態と色彩、(4) 作品制作3 質感と色彩、(5) 作品制作4 混色と重色、(6) 作品制作5 色彩と色料、(7) 作品制作6 筆触と色彩、(8) 作品制作7 絵画の物理的性質と色彩・色料、(9) 作品制作8 技法・材料の多様性と色彩、(10) 作品講評</p>	対面
OATTC33	洋画特別制作B-1	3	2.0	2	春ABC	火2,3,集中	6B404,6B405	星 美加	<p>秋学期開催の学外における作品展示(つくば美術館)にむけて、作品資料等の収集、技法研究、構想の錬磨等、同時並行的におこないながら、独自の表現を目指す。</p> <p>修了研究にむけて、テーマの設定、技法研究を中心に継続的に制作をおこなう。より高度な絵画技術を習得し、独自の構想力、表現力を養えるよう指導するとともに、修了後も作家として制作活動に携わるための指導を行う。</p>	対面
OATTC34	洋画特別制作B-2	3	1.0	2	秋AB	火2,3	6B404,6B405	星 美加	<p>本学期開催の学外における作品展示(つくば美術館)にむけて、作品資料等の収集、技法研究、構想の錬磨等、同時並行的におこないながら、独自の表現を目指す。</p> <p>修了研究にむけて、テーマの設定、技法研究を中心に課題制作を継続する。修了研究(作品及び研究報告書)の作成。より高度な絵画技術を習得し、独自の構想力、表現力を養えるよう指導するとともに、修了後も作家として制作活動に携わるための指導を行う。</p>	対面

OATTC35	洋画特別制作C-1	3	2.0	2	春ABC	木4, 5, 集中	6B404, 6B405	福満 正志郎	<p>授業の到達目標及びテーマ: ・各自、表現のテーマやねらいに沿って作品を構想し、絵画表現を構築する手法を学ぶ。 ・自らの作品における構想とイメージの表現効果を分析し、その傾向と独自性を把握して絵画表現を展開する力を身につける。 ・制作実践を通して、画家として自立的に活動するための独自の制作方法を確立する。 授業の概要:絵画表現の独自性を理解し、表現の主題と内容をしっかりと見据えて造形し発信する態度を養成する。また、作品の自主制作と発表を促し、対外的な評価の獲得によって活動の基盤を形成できるよう助言する。 授業計画:(1) ガイダンス、(2) 作品制作1 テーマに基づいた構想、(3) 作品制作2 イメージと構想、(4) 作品制作3 造形要素と構想、(5) 作品制作4 構想表現のための技法・材料実験、(6) 作品制作5 イメージのリアリティについて、(7) 作品制作6 参考作品にみる構想表現の検討、(8) 作品制作7 参考作品の構想についての技法・材料実験、(9) 作品制作8 参考作品の構想表現を踏まえた制作実践、(10)~(12) 作品制作9-11 イメージの展開に着目した作品制作の方法と検討、(13)~(14) 作品制作1213 イメージと構想の連関に着目した作品展開のための制作実践、(15) 作品制作1 主題と構想、(16) 作品制作2 イメージと構想、(17) 作品制作3 造形要素と構想、(18) 作品制作4 技法・材料実験、(19) 作品制作5 イメージとリアリティ、(20) 作品講評</p>	対面
OATTC36	洋画特別制作C-2	3	1.0	2	秋AB	木4, 5	6B404, 6B405	福満 正志郎	<p>授業の到達目標及びテーマ: ・各自、表現のテーマやねらいに沿って作品を構想し、絵画表現を構築する手法を学ぶ。 ・自らの作品における構想とイメージの表現効果を分析し、その傾向と独自性を把握して絵画表現を展開する力を身につける。 ・制作実践を通して、画家として自立的に活動するための独自の制作方法を構築する。 授業の概要:高度な描画力と専門知識を活かした独自の絵画表現を実現するために、受講者個々の表現内容および描画方法について助言・指導を行う。また、作品の制作と発表を促し、対外的な評価の獲得によって活動の基盤を形成できるよう助言する。 授業計画:(1) ガイダンス、(2) 作品制作1 構想表現の検討、(3) 作品制作2 構想の技法・材料実験、(4) 作品制作3 独自の構想表現の制作実践、(5) 作品制作4 イメージ展開の方法の検討、(6)~(9) 作品制作5-8 イメージ展開のための技法・材料実験、制作実践、(10) 作品講評</p>	対面
OATTC37	洋画特別制作D-1	3	2.0	2	春ABC	金4, 5, 集中	6B404, 6B405	内藤 定壽	<p>授業の到達目標及びテーマ: ・個別に設定・選択した主題に沿って独自の表現様式や方法を追求し、作品化する。 ・自らの作品における構図・形態の表現効果を分析し、その傾向と独自性を把握して表現を展開する力を身につける。 ・制作実践及び作品発表を通して、画家として自立的に活動するための独自の制作方法を確立する。 授業の概要:受講生各自が自身の表現の主題と内容を基に基底材のサイズ・描画材等を選択し、作品制作を行う。 授業計画:(1) ガイダンス、(2)~(5) 作品制作1-4 自作作品の構図・形態分析を踏まえた制作実践、(6)~(9) 作品制作5-8 参考作品にみる構図・形態の分析、制作実践、(10)~(12) 作品制作9-11 構図・形態に着目した作品展開、制作実践、(13)~(14) 作品制作1213 表現主題と構図・形態の連関に着目した作品展開の方法の検討、制作実践、(15) 作品制作1 主題と形態、(16) 作品制作2 構想と形態、(17) 作品制作3 構図と形態、(18) 作品制作4 形態の対比・調和、(19) 作品制作5 調子と形態、(20) 作品講評</p>	洋画制作を履修済みであること 対面

OATTC38	洋画特別制作D-2	3	1.0	2	秋AB	金4,5	6B404, 6B405	内藤 定壽	<p>授業の到達目標及びテーマ: ・個別に設定・選択した主題に沿って独自の表現様式や方法を追求し、作品化する。 ・自らの作品における構図・形態の表現効果をさらに発展させ、独自の表現を展開する力を身につける。 ・各自、表現のテーマやねらいに沿って作品を構想し、絵画表現を構築する手法を確立する。 授業の概要: 高度な描画力と専門知識を活かした独自の絵画表現を実現するために、受講者個々の表現内容および描画方法について助言・指導を行う。また、作品の制作と発表を促し、対外的な評価の獲得によって活動の基盤を形成できるよう助言する。 授業計画: (1) ガイダンス、(2) 作品制作1 構図の検討、(3) 作品制作2 形態の技法・材料実験、(4) 作品制作3 独自の構図・形態の表現の制作実践、(5) 作品制作4 イメージと構図の展開の方法の検討、(6)~(9) 作品制作5-8 イメージと形態の展開のための技法・材料実験、制作実践、(10) 作品講評</p>	洋画特別制作D-1を履修済みであること。 対面
OATTC41	洋画野外風景実習	3	1.0	1・2	春ABC	随時		内藤 定壽, 仏山輝美, 福満 正志郎, 星 美加	<p>授業の到達目標及びテーマ: 屋外において自然風景の写生に取り組み、風景画制作の実践のための手立てと描画方法を習得して、受講者個々の描画力・表現力を高める。 授業の概要: 自然に学ぶ態度を培い、観察力や洞察力に基づく描画力を高めて、独自の絵画表現のための礎となるよう風景画制作における受講者個々の表現内容および描画方法について助言・指導を行う。 授業計画: (1) ガイダンス、(2) 風景画制作1 構図、(3) 風景画制作2 明暗、(4) 風景画制作3 色彩、(5) 風景画制作4 形態、量感、質感、(6) 風景画制作5 空間、奥行き、(7) 風景画制作6 マチエール、テクスチャ、(8) 風景画制作7 筆致、(9) 風景画制作8 技法・材料と表現、(10) 風景画制作9 作品講評、作品展示</p>	対面

専門科目【版画領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTD01	版画制作A-1	3	2.0	1	春ABC	木2,3,集中	6A105 C204	田島 直樹	木版画、スクリーンプリントの原理を理解し、技法を習得する。合わせて、教材としての版画の指導方法について実践を通して考察する。	対面
OATTD02	版画制作A-2	3	1.0	1	秋AB	木2,3	6A105 C204	田島 直樹	銅版画(エッチング・アクアチント)、コラグラフの原理を理解し、技法を習得する。合わせて、教材としての版画の指導方法について実践を通して考察する。	対面
OATTD03	版画制作B-1	3	2.0	1	春ABC	金2,3,集中	6A105 C204	田島 直樹	専門とする版種に関する作家・作品・技法について、調査・研究・実験制作を通して自己の制作に活かす。	対面
OATTD04	版画制作B-2	3	1.0	1	秋AB	金2,3	6A105 C204	田島 直樹	専門とする版種に関する作家・作品・技法について、調査・研究・実験制作を通して自己の制作に活かす。	対面
OATTD11	版画特別制作-1	3	2.0	2	春ABC	木4,5,集中	6A105 C204	田島 直樹	個別に設定されたテーマによって版種を選び、修了研究に向けて版画の制作実験を試みる。	対面
OATTD12	版画特別制作-2	3	1.0	2	秋AB	木4,5	6A105 C204	田島 直樹	個別に設定されたテーマによって版種を選び、修了研究に関連した版画の制作研究を行う。また、学外で作品の成果発表を行う。	対面
OATTD21	版画技法演習A	2	2.0	1・2					版画の性能の特徴である複数性を応用して、版画集を作成する。その形態や体裁・仕掛けについて協議し、共同制作を行う。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTD22	版画技法演習B	2	2.0	1・2	秋AB	随時	6A105 C204	田島 直樹	アルミ板を使用した平版の様々な技法について演習を行う。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTD31	版画学外演習	2	1.0	1・2	春ABC 秋ABC	随時	6A105 C204	田島 直樹	版画に関する各自のテーマに基づき、実地研修を行う。	対面

専門科目【日本画領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

OATTE01	日本美術技法演習-1	2	2.0	1・2	春AB	木2,3	アート &デザイン 実習室1	山本 浩之, 諏訪 智美	授業の到達目標及びテーマ:古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にともなう種々の技法について演習を行い、伝統的日本人画の表現技法のあり方について考察する。 授業の概要:中国宋元画の複製(色紙)を模本として、絹本に日本人画の素材と材料及び技法を用いて、古典模写を行う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2) 古典模写について(模本の選択、中国宋元画について)、(3)~(4) 薄美濃紙による上げ写し、(5) 絹染め(絵絹を矢車の実によって染色し、古色をつける)、(6)~(9) 絹本への上げ写し、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE02	日本美術技法演習-2	2	2.0	1・2	秋AB	木2,3	アート &デザイン 実習室1	山本 浩之, 諏訪 智美	授業の到達目標及びテーマ:古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にともなう種々の技法について演習を行い、伝統的日本人画の表現技法のあり方について考察する。 授業の概要:中国宋元画の複製(色紙)を模本として、絹本に日本人画の素材と材料及び技法を用いて、古典模写を行う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2) 胡粉による地塗り(胡粉と膠の種類についての検討)、(3) 古色の表現(日本人画の色材と水干絵具について)、(4)~(8) 彩色による表現、(9) 模写の完成と保存(表装について)、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE11	日本画制作A-1	3	2.0	1	春ABC	火2,3, 集中	5C306	程塚 敏明, 諏訪 智美	授業の到達目標及びテーマ:日本人画の専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、創作的内容を伴う表現力を修得する。 授業の概要:自由制作を課題とし、主題の設定から表現方法について検討することで、独自の表現力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(4) 主題の設定と資料収集、(5)~(6) 材料技法・制作方法の検討、(7)~(19) 「各自が自由にテーマを設定する日本画制作I」、(20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE12	日本画制作A-2	3	1.0	1	秋AB	火2,3	5C306	程塚 敏明, 諏訪 智美	授業の到達目標及びテーマ:日本人画の専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、造形的内容を伴う表現力を修得する。 授業の概要:自由制作を課題とし、テーマについて表現意図を追求しながら、日本人画の表現技法と構想力・描写力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(4) 主題の設定と資料収集、(5)~(6) 材料技法・制作方法の検討、(7)~(19) 「各自が自由にテーマを設定する日本画制作I」、(20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE13	日本画制作B-1	3	2.0	1	春ABC	木4,5, 集中	5C306	程塚 敏明	授業の到達目標及びテーマ:日本人画の専門的な技術を基礎とし、表現内容と技法との必然性について考察する。 授業の概要:自由制作を課題とし、テーマについて表現意図を効果的に伝える方法を修得する。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(5) 表現技法の検討、(6)~(19) 各自が自由にテーマを設定する日本画制作I」、(19) (20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE14	日本画制作B-2	3	1.0	1	秋AB	木4,5	5C306	程塚 敏明	授業の到達目標及びテーマ:日本人画の専門的な技術を基礎とし、表現内容と技法についての効果について考察する。 授業の概要:自由制作を課題とし、テーマについて表現意図を効果的に展開する方法を修得する。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(5) 表現技法の検討、(6)~(19) 各自が自由にテーマを設定する日本画制作I」、(19) (20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE15	日本画制作C-1	3	2.0	1	春ABC	金2,3, 集中	5C306	程塚 敏明, 諏訪 智美	授業の到達目標及びテーマ:日本人画の専門的な技術を基礎とし、表現内容と日本人画の形式について考察する。 授業の概要:自由制作を課題とし、テーマについての表現意図と構想力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(5) 表現形式の検討、(6)~(19) 各自が自由にテーマを設定する日本画制作I」、(19) (20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面

OATTE16	日本画制作C-2	3	1.0	1	秋AB	金2,3	5C306	山本 浩之	授業の到達目標及びテーマ:日本画の専門的な技術を基礎とし、表現内容と日本画の支持体について考察する。 授業の概要:自由制作を課題とし、テーマについての表現意図と構成力及び表現力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(5) 支持体の検討、(6)~(19) 各自が自由にテーマを設定する日本画制作I」、(19) (20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE21	日本画特別制作A-1	3	2.0	2	春ABC	月2,3 集中	5C306	程塚 敏明, 諏訪 智美	授業の到達目標及びテーマ:各自でテーマを設定し、日本画の専門的な知識と技術を用いて、高度な表現技法を伴う制作研究を行い、作家としての表現の確立を追求する。 授業の概要:自由制作というテーマを課題とし、主題の設定と表現技法の必然性について考察するとともに、多様な日本画表現の可能性について深く追求できる画力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(7) 課題1「自由制作をテーマとした日本画表現I」、(8)~(15) 課題2「自由制作をテーマとした日本画表現II」、(16)~(19) 課題3「自由制作をテーマとした日本画表現III」、(20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE22	日本画特別制作A-2	3	1.0	2	秋AB	月2,3	5C306	程塚 敏明, 諏訪 智美	授業の到達目標及びテーマ:各自でテーマを設定し、日本画の専門的な表現技法を応用して、高度な制作研究を行い、作家としての表現の確立を追求する。 授業の概要:自由制作というテーマを課題とし、主題の設定と表現技法の必然性を追求し、多様な日本画表現の可能性について対応できる力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(7) 課題1「自由制作をテーマとした日本画表現III」、(8)~(15) 課題2「自由制作をテーマとした日本画表現IV」、(16)~(19) 課題3「自由制作をテーマとした日本画表現III」、(20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE23	日本画特別制作B-1	3	2.0	2	春ABC	火4,5 集中	5C306	山本 浩之	授業の到達目標及びテーマ:各自でテーマを設定し、日本画の専門的な知識と技術を用いて、作家としての独自性のある表現の確立を追求する。 授業の概要:自由制作というテーマを課題とし、作品と展示方法の関係について考察するとともに、日本画表現の可能性について展開できる力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(9) 課題1「自由制作をテーマとした日本画表現と展開の関係I」、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE24	日本画特別制作B-2	3	1.0	2	秋AB	火4,5	5C306	山本 浩之	授業の到達目標及びテーマ:各自でテーマを設定し、日本画の専門的な表現力を用いて、作家としての現代生のある表現の確立を追求する。 授業の概要:自由制作というテーマを課題とし、作品と展示方法の関係について展開するとともに、現代日本画の可能性について対応できる力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(9) 課題1「自由制作をテーマとした現代的な日本画表現と展開の関係I」、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE25	日本画特別制作C-1	3	2.0	2	春ABC	木2,3 集中	5C306	程塚 敏明	授業の到達目標及びテーマ:修了研究を見据えて各自でテーマを設定し、高度な表現技法と創作的内容を伴う制作研究を計画的に行い、独自性のある質の高い作品を追求する。 授業の概要:修了制作を踏まえた制作を課題とし、主題の設定と表現技法の必然性について考察するとともに、日本画表現の可能性について深く追求できる力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(7) 課題1「自由制作をテーマとした日本画表現I」、(8)~(15) 課題2「自由制作をテーマとした日本画表現II」、(16)~(19) 課題3「自由制作をテーマとした日本画表現III」、(20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面

OATTE26	日本画特別制作C-2	3	1.0	2	秋AB	木2,3	5C306	程塚 敏明	授業の到達目標及びテーマ:修了研究を見据えて各自でテーマを設定し、高度な表現技法と創作的内容を伴う制作研究を計画的に行い、批評性を備えた質の高い作品を追求する。 授業の概要:修了制作を踏まえた制作を課題とし、日本画表現の可能性について深く追求できる力を養うとともに、成果を効果的に発表する力を養う。 授業計画:(1) ガイダンス(授業課題に関する説明)、(2)~(7) 課題1「自由制作をテーマとした日本画表現I」I」、(8)~(15) 課題2「自由制作をテーマとした日本画表現IV」、(16)~(19) 課題3「自由制作をテーマとした日本画表現V」、(20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	対面
OATTE31	日本画野外風景実習	3	1.0	1・2	春ABC	随時		太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之, 諏訪 智美	授業の到達目標及びテーマ:特定した野外において、各自がモチーフとしての風景を選択し、数日間写生を行うことにより移ろい変化していく対象を捉える描写力と持久力を養い、風景表現の技術を高める。 授業の概要:学外実習として、約一週間、特定の写生地に滞在して、鉛筆写生を通して風景表現の実習を行う。 授業計画:(1) 事前指導(オリエンテーション)、(2)~(9) 実地指導、(10) 事後指導(写生から日本画による制作への展開)	対面

専門科目【彫塑領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTF01	彫塑学外演習	2	1.0	1・2	通年	随時		大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ:現存する歴史的作品や現代彫刻作品を実地に訪ねて鑑賞・研究することにより、彫刻芸術に係る知識や技法等を集積し多様な展開にも対応できるようにする。 授業の概要:各自のテーマに基づき、実地研修を行う。 授業計画:(1) 事前指導(オリエンテーション)、(2) 事前指導(演習場所、日程の検討)、(3) 事前指導(演習内容の検討)、(4) 事前指導(資料作成)、(5) 実地指導(実見場所について)、(6) 実地指導(歴史的・美術史的な背景について)、(7) 実地指導(各自の研究対象テーマに基づく発表会 中間)、(8) 実地指導(調査対象と研究テーマについて)、(9) 実地指導(各自の研究対象テーマに基づく発表会 まとめ)、(10) 事後指導(まとめ、レポート作成)	彫塑領域の学生に限る。 対面
OATTF06	彫塑技法演習	2	1.0	1・2	春学期 秋A	随時		川島 史也	授業の到達目標及びテーマ:漆を主材料とする乾漆技法による彫刻制作を試みる。石膏型を用いた脱活乾漆の制作を通して、各種材料や技法を習得し、乾漆表現の本質を追求する。 授業の概要:粘土原型を縦・横・奥行き長さの合計が45cm以内の大きさになるように制作する。石膏型を用いた脱活乾漆の技法を実践する。 (1) 授業計画: 乾漆の概要、材料・道具準備の説明、(2) 作品プランの発表・粘土原型制作(以降、授業時間外で粘土原型を完成させ、石膏型取りまで行う)、(3) 離型材の塗布、錆漆の作成、(4) 塗り込み(錆漆を石膏型に塗布する)、(5) (6) 張り込み(麻布を錆漆で張り込む)、(7) 芯棒組み、蓋閉め、(8) 割り出し、修正、(9) 仕上げ、(10) 講評・評価(研究成果の反省と展望)	原則として彫塑領域の学生に限る。 教室: 6B104 対面
OATTF11	塑造制作-1	3	3.0	1・2	春ABC	木・金 2,3	6A102, 6A103	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ:塑造活動を通じて、彫塑の特質及び造形要素と具体的な表現との関連を究明させるとともに、創造的で確かな立体表現力を練磨する。 授業の概要:裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。 授業計画:(1)~(3) ポーズの研究とデッサン、(4) 制作台の整備、(5)~(6) 制作、心棒組み、(7)~(10) 制作 あら付とプロポジションの検討、(12)~(23) 制作 量の構成、(24)~(29) 制作 仕上げ、(30) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。原則として「塑造制作-2」とあわせて履修すること。 対面

OATTF12	塑造制作-2	3	3.0	1・2	秋ABC	木・金 2,3	6A102, 6A103	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ: 塑造制作1での成果と課題を踏まえ、より発展的に制作を行う。塑造活動を通じて、彫塑の特質及び造形要素と具体的な表現との関連を究明させるとともに、創造的で確かな立体表現力を練磨する。 授業の概要: 裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。 授業計画: (1)~(3) ポーズの研究とデッサン、(4) 制作台の整備、(5)~(6) 制作、心棒組み、(7)~(10) 制作 あら付とプロポーションの検討、(12)~(23) 制作 量の構成、(24)~(29) 制作 仕上げ、(30) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。原則として「塑造制作-1」を履修した者。 対面
OATTF21	彫刻制作-1	3	3.0	1・2	春ABC 春C	木5, 6, 金4, 5 集中	6A114 6A115 C109	大原 央聡, 川島 史也, 宮坂 慎司	授業の到達目標及びテーマ: 彫刻素材がもつ彫刻的な特質を活かして創造的な立体表現力を高める。木材と石材を総合的に扱うことにより、カービングによる表現の可能性を探る。 授業の概要: ・クス材等の丸太や木材を用いて、彫刻制作を行う。 ・黒御影石、大理石などのブロック石材を用いて、手彫りを主とした彫刻制作を行う。 授業計画: (1) 各自で用意した木材を基に、イメージの具体化を図る。材の底だし(木彫)、(2) 石彫制作の概要説明と石材の選定(石彫)、(3)~(14) デッサンまたはエスキース制作、工具、安全作業について等、(15)~(19) こなし、石取り法、(20)~(28) あら彫り、(29)~(30) 講評・評価を行う。(研究成果の反省と展望)	原則として「彫刻制作-2」とあわせて履修すること。原則として彫塑領域の学生に限る。教室は他C110, 作業コート 対面
OATTF22	彫刻制作-2	3	3.0	1・2	秋ABC 秋C	木5, 6, 金4, 5 集中	6A114 6A115 C109	大原 央聡, 川島 史也, 宮坂 慎司	授業の到達目標及びテーマ: 彫刻素材がもつ彫刻的な特質を活かして創造的な立体表現力を高める。木材と石材を総合的に扱うことにより、カービングによる表現の可能性を探る。 授業の概要: 「彫刻制作1」での制作に基づき、素材のもつ彫刻的な特質を活かして彫刻制作を行う。 授業計画: (1)~(11) あら彫り、中彫り、小造り、(12)~(27) 小造り、仕上げ、砥石研磨、(28) 作品の移動・設置について(門型クレーンの使用法)、(29)~(30) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。原則として彫刻制作-1を履修していること。 教室は他C110, 作業コート 対面
OATTF31	金属彫刻制作	3	2.0	1・2	春ABC秋A 秋A	月2, 3 集中	6A104	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	授業の到達目標及びテーマ: 鑄造・溶接等の金属処理法を駆使した頭像作品の制作を通して彫塑の造形感覚を養う。 授業の概要: 鑄造・溶接等の金属処理を駆使して、実験的に創造的な彫塑の制作研究を行う。 授業計画: (1) 鋳型鑄造法の概要、材料・道具準備の説明、(2)~(6) 粘土原型制作I、(7) 粘土原型の雌型作り、(8) 鋳原型修正、直付制作、(9) 鋳型作り(湯道取り付け、耐火石膏埋設)、(10) 焼成(温度と時間について)、(11)~(14) 鑄造、(15)~(19) 仕上げ、(20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	原則として彫塑領域の学生に限る。 対面
OATTF41	テラコッタ制作	3	2.0	1・2	春ABC 夏季休業 中	火4, 5 集中	5C112	宮坂 慎司, 大原 央聡	授業の到達目標及びテーマ: テラコッタ(陶造形)は独自の素材と技法を有する立体造形である。各種材料や技法を習得し、研究制作を通してテラコッタ表現の本質を追究する。 授業の概要: 独自の素材と技法を有するテラコッタ(陶造形)技法を用いて立体造形を行う。 授業計画: (1) テラコッタ(陶造形)について解説、(2) 各種素材の説明 粘土の調整法と土練り、(3) 各種技法の説明、(4)~(9) 各種材料や技法を基に試作及び制作、(10) 焼成前の彩色方と乾燥、(11)~(13) 素焼き、(14) 仕上げ(化粧土など彩色)、(15) 手捻りによる小品制作について、(16) 仕上げと乾燥、(17)~(18) 低温焼成および高温焼成、(19) 仕上げ、(20) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	原則として彫塑領域の学生に限る。 対面
OATTF51	彫塑特別制作A	3	1.0	2	春AB	月2, 3	6A102, 6A103, 6A104	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ: 制作実践を通して、彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得と素材に関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につける。 授業の概要: 実践的な制作研究を通して、彫塑芸術における素材とフォルムの関係を探究する。彫塑特別制作B'Dと連動して、彫塑表現の多様性を考察する。 授業計画: (1) オリエンテーション、(2) 各自の研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定したテーマによる制作(実際の素材に対して、心棒組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。 教室: 6A102, 6A103, 6A104, 6A114, 6A115, C109, C110, 作業コート他 対面

OATTF52	彫塑特別制作B	3	1.0	2	春AB	月4, 5	6A102, 6A103, 6A104	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得と技法に関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑芸術における技法と素材の関係を探究する。彫塑特別制作A, C, Dと連動して、彫塑表現の多様性を考察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定したテーマによる制作(実際の素材に対して、心棒組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。 教室: 6A102, 6A103, 6A104, 6A114, 6A115, C109, C110, 作業コート他 対面
OATTF53	彫塑特別制作C	3	1.0	2	春AB	水2, 3	6A102, 6A103, 6A104	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得とフォルムに関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑芸術におけるフォルムと空間の関係を探究する。彫塑特別制作A, B, Dと連動して、彫塑表現の多様性を考察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定したテーマによる制作(実際の素材に対して、心棒組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。 教室: 6A102, 6A103, 6A104, 6A114, 6A115, C109, C110, 作業コート他 対面
OATTF54	彫塑特別制作D	3	1.0	2	春AB	金4, 5	6A102, 6A103, 6A104	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得と空間性に関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑芸術における空間性について探究する。彫塑特別制作A, Cと連動して、彫塑表現の多様性を考察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定したテーマによる制作(実際の素材に対して、心棒組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。 教室: 6A102, 6A103, 6A104, 6A114, 6A115, C109, C110, 作業コート他 対面

専門科目【書領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTG01	漢字演習A	2	3.0	1・2					中国古代の青銅器の銘文(金文)と帛書簡牘文字資料を書法の観点からとらえ、いくつかの具体的な遺品を実地に模写・臨書することを通して、詳しくその分析を進め、漢字書法の習得のための一助とする。	西暦奇数年度開講。 対面
OATTG02	漢字演習B	2	3.0	1・2	通年	火5	6A405	高橋 佑太	中国古代の文字資料を書法の観点から整理し、いくつかの遺品を実地に模写・臨書することを通して、その分析を深め、漢字書法習得のための一助とする。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTG03	漢字演習C	2	3.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:行書・草書における代表的な古典の臨書を通して、当該書体の技法に習熟するとともに、做書を中心とした創作を試み、幅広い表現力を培う。 授業の概要:行書・草書における歴代の名品を幾つか取り上げ、それぞれ臨書と做書を繰り返すことにより、多様な行書・草書表現を学習する。 授業計画:(1) 学習の進め方、(2) 臨書古典の選定、(3)~(29) 選定古典の臨書と做書、(30) 学習のまとめ	西暦奇数年度開講。 対面
OATTG04	漢字演習D	2	3.0	1・2	夏季休業 中 秋ABC	集中 木4	6A405	菅野 智明	授業の到達目標及びテーマ:隷書・楷書における代表的な古典の臨書を通して、当該書体の技法に習熟するとともに、做書を中心とした創作を試み、幅広い表現力を培う。 授業の概要:隷書・楷書における歴代の名品を幾つか取り上げ、それぞれ臨書と做書を繰り返すことにより、多様な隷書・楷書表現を学習する。 授業計画:(1) 学習の進め方、(2) 臨書古典の選定、(3)~(29) 選定古典の臨書と做書、(30) 学習のまとめ	西暦偶数年度開講。 対面
OATTG11	仮名演習A	2	3.0	1・2					高野切第二種を中心に古筆への理解を深め、制作・研究につなげる。	西暦奇数年度開講。 対面

OATTG12	仮名演習B	2	3.0	1・2	通年	金1	6A404	尾川 明穂	十五番歌合を中心に古筆への理解を深め、制作・研究につなげる。	西暦偶数年度開講。 対面
OATTG21	書学外演習A	2	1.0	1・2	通年	随時		菅野 智明, 尾川 明穂, 高橋 佑太	授業の到達目標及びテーマ:博物館や美術館において、書の名品を実地に鑑賞することにより、書の美に対する感性を養うとともに、それを成り立たせている諸要因について、歴史的・文化的背景も視野に、理解を深め、幅広い書の鑑賞力を培う。 授業の概要:都内を中心とした書の名品を所蔵・展示する博物館・美術館より、特に東京国立博物館、国立新美術館、出光美術館、五島美術館の蔵品、展示品を集中的に鑑賞する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 鑑賞書跡の事前調査、(3)~(4) 東京国立博物館における鑑賞、(5)~(6) 国立新美術館における鑑賞、(7)~(8) 出光美術館における鑑賞、(9)~(10) 五島美術館における鑑賞	対面
OATTG22	書学外演習B	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:博物館や美術館において、書の名品を実地に鑑賞することにより、書の美に対する感性を養うとともに、それを成り立たせている諸要因について、歴史的・文化的背景も視野に、理解を深め、幅広い書の鑑賞力を培う。 授業の概要:都内を中心とした書の名品を所蔵・展示する博物館・美術館より、特に書道博物館、東京都美術館、国立民俗歴史博物館、根津美術館の蔵品、展示品を集中的に鑑賞する。 (1) オリエンテーション、(2) 鑑賞書跡の事前調査、(3)~(4) 書道博物館における鑑賞、(5)~(6) 東京都美術館における鑑賞、(7)~(8) 国立歴史民俗博物館における鑑賞、(9)~(10) 根津美術館における鑑賞	西暦奇数年度開講。 対面
OATTG23	書学外演習C	2	1.0	1・2	通年	随時		菅野 智明, 尾川 明穂, 高橋 佑太	授業の到達目標及びテーマ:博物館や美術館において、書の名品を実地に鑑賞することにより、書の美に対する感性を養うとともに、それを成り立たせている諸要因について、歴史的・文化的背景も視野に、理解を深め、幅広い書の鑑賞力を培う。 授業の概要:都内を中心とした書の名品を所蔵・展示する博物館・美術館より、特に成田山書道美術館、東洋文庫、静嘉堂文庫、三井記念美術館の蔵品、展示品を集中的に鑑賞する。	西暦偶数年度開講。 その他の実施形態

専門科目【構成領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
OATTH01	平面・立体構成論特講		1	1.0	1・2	春AB	木3	6A203	上浦 佑太	授業の到達目標及びテーマ:平面表現・立体表現それぞれについて、各造形要素に着目して構成と表現効果の関連を分析的に検証できるようになることを目指す。 授業の概要:素材や色など表現における基礎的な造形要素に着目し、平面から立体まで横断的に表現事例を比較する。構成に応じて得られる表現効果と応用・展開の可能性を学ぶ。与えられたテーマに沿った研究発表を通して、多面的視点に基づく観察力を養う。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 「形」に着目した構成と表現効果、(3) 「色」に着目した構成と表現効果、(4) 「光」に着目した構成と表現効果、(5) 「時間」と「動き」に着目した構成と表現効果、(6) 「鑑賞」に着目した構成と表現効果、(7) 「偶然性」に着目した構成と表現効果、(8) 「重力」に着目した構成と表現効果、(9) 「鑑賞方法」に着目した構成と表現効果、(10) まとめ	対面
OATTH11	平面・立体構成演習A		2	2.0	1・2	秋ABC	木5, 集中	6A203	上浦 佑太	授業の到達目標及びテーマ:造形要素に着目して平面・立体問わず横断的に造形表現の先行事例を検証することで、構成と表現効果の関連を分析的に解釈できるようにする。また、そこで得られた観点をもとに実際に制作を行い、表現における展開の幅を広げる。 授業の概要:設置形式や状況、鑑賞方法に関する物理的制約を課し、それを効果的に活用した表現を探る。関係する先行事例の検証をふまえて、各自の造形的関心に基づいて平面または立体における展開を模索する。作品は年度末に公開展示する。 授業計画:(1) オリエンテーション、テーマの発表、(2)~(5) 先行事例調査の発表、(7)~(10) 作品プランの検討、意見交換、(11) 中間報告、マケット提出、(12)~(17) 本制作、(18)~(19) 作品講評、(20) まとめ	西暦偶数年度開講。 対面

OATTH12	平面・立体構成演習B	2	2.0	1・2					<p>授業の到達目標及びテーマ:造形要素に着目して平面・立体問わず横断的に造形表現の先行事例を検証することで、構成と表現効果の関連を分析的に解釈できるようにする。また、そこで得られた観点をもとに実際に制作を行い、表現における展開の幅を広げる。</p> <p>授業の概要:素材や色、あるいはそれらの組み立て方に関する物理的制約を課し、それを効果的に活用した表現を探る。関係する先行事例の検証をふまえて、各自の造形的関心に基づいて平面または立体における展開を模索する。作品は年度末に公開展示する。</p> <p>授業計画:(1) オリエンテーション、テーマの発表、(2)~(5) 先行事例調査の発表、(7)~(10) 作品プランの検討、意見交換、(11) 中間報告、マケット提出、(12)~(17) 本制作、(18)~(19) 作品講評、(20) まとめ</p>	西暦奇数年度開講。対面
---------	------------	---	-----	-----	--	--	--	--	---	-------------

専門科目【総合造形領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTJ01	現代アート表現論	1	1.0	1・2	春AB	火5	5C205	小野 裕子	<p>授業の到達目標及びテーマ:現在のアートの動向を实地調査し、各自の研究と照らし合せ、自身の立ち位置を探る。</p> <p>授業の概要:現代アートの知見を踏まえて、その動向を調査する。多領域の学生の意見を交えながら自身の研究と比較して、各自の研究に反映させていく。</p> <p>授業計画:(1) イントロダクション、(2) 現代アートの動向、(3) 各自研究のプレゼンテーション1 現代アート作家のリサーチ発表、(4) 各自研究のプレゼンテーション2 環境とアート、(5) 各自研究のプレゼンテーション3 ビジュアルデザインとアート、(6) 各自研究のプレゼンテーション4 環境芸術、(7) 各自研究のプレゼンテーション5 地域と芸術、(8) 各自研究のプレゼンテーション6 現在のアートの役割、(9) 美術館での作品視察、(10) レポートプレゼンテーション</p>	オンライン(同時双方向型)
OATTJ11	現代アート表現演習	2	2.0	1・2	秋ABC	火5 集中	5C205, 6B101	小野 裕子	<p>授業の到達目標及びテーマ:現在のアートの動向を实地調査し、各自の研究と照らし合せ、制作研究を行う。</p> <p>展示発表にすることによって各自の研究を深める。</p> <p>授業の概要:現代アートの動向を調査し、各自の研究を深め、実験制作を行う。</p> <p>授業計画:(1) イントロダクション、(2) 現代アートの流れ、(3) 各自研究のプレゼンテーション 1総合造形表現として 2ビジュアルデザイン表現として、(4) 各自研究のプレゼンテーション 3建築デザイン表現として 4クラフト表現として、(5) 各自研究のプレゼンテーション 5構成表現として、(6) 各自研究のプレゼンテーション 6現代アートと各自表現の関わりについて、(7) 制作研究1 イメージスケッチチェック、設置計画書プレゼンテーション、(8) 制作研究2 イメージスケッチチェック、設置計画書プレゼンテーション、(9) 制作研究3 イメージスケッチチェック、設置計画書プレゼンテーション、(10) 制作研究4 作品再考案提出、(11) 制作研究5 作品制作進捗報告、(12) 制作研究6 作品制作進捗報告、(13) 制作研究7 作品制作進捗報告、(14) 制作研究8 作品制作進捗報告、(15) 制作研究9 作品制作進捗報告、(16) 制作研究10 作品制作進捗報告、(17) 作品搬入・会場設置・展示、(18) プレゼンテーション、(19) プレゼンテーション、(20) 作品撤去・撤出</p>	オンライン(同時双方向型)
OATTJ21	メディア表現論	1	1.0	1・2	春AB	火4	5C205	村上 史明	<p>授業の到達目標及びテーマ:テクノロジーを用いたメディア表現について理解を深める。</p> <p>授業の概要:自身の研究範囲の発表、および周辺領域のディスカッションを行う。</p> <p>授業計画:(1) テクノロジーを用いたメディア表現について、(2) 情報技術を用いたメディアアートについて、(3) ハイブリッドアートについて、(4) 自然エネルギーを用いたメディアアートについて、(5) 医療空間におけるメディアアートについて、(6) 海外事例、(7) ディスカッション1、(8) ディスカッション2、(9) ディスカッション3、(10) まとめ</p>	オンライン(同時双方向型)
OATTJ31	メディア表現演習	2	2.0	1・2	秋ABC	火4, 集中	5C205	村上 史明	映像や電子デバイスなどのテクノロジーを用いたメディアアート作品を制作する	対面

OATTJ41	現代美術論	1	1.0	1・2	秋AB	火2	5C403	國安 孝昌	授業の到達目標及びテーマ:現代美術を学ぶ学生として、より高度なテキストを使い講読し解説を行う。社会に出て、作家として必要な基礎から高度な知識、考え方、芸術哲学を修得する。 授業の概要:総合造形の視点から現代美術論を論じる。テキストの講読とレポート添削を行う。 ・「現代アートバブル」吉井仁実著の読解と解説/5回 ・「芸術起業論」村上隆著の読解と解説/5回	対面
OATTJ51	現代美術演習	2	2.0	1・2	春ABC	火2	5C403	國安 孝昌	授業の到達目標及びテーマ:現代美術を学ぶ学生として、より高度な作品展示を目指し展覧会の企画、運営、制作、出品、広報などを学生で行う。社会に出て、作家として必要な展覧会技術を修得する。 授業の概要:総合造形の視点から現代美術論を考えた討論を行い、一つの展覧会を立ち上げる。 授業計画:(1) 各自のポートフォリオの発表と批評、(2) 各自のポートフォリオの発表と批評展覧会計画、(3) 各自のポートフォリオの発表と批評、(4) 各自のポートフォリオの発表と批評(場所選びと内容)、(5) 展覧会計画(場所選びと内容)、(6) 展覧会計画(場所選びと内容)、(7) 展覧会計画(場所選びと相手側との交渉)、(8) 展示場所所有者との交渉、(9) 展示場所所有者との交渉、(10) 展示場所に合わせた作品制作、(11) 展示場所に合わせた作品制作、(12) 展示場所に合わせた作品制作、(13) 会場設営・会場運営計画、(14) 広報物の制作と発注、(15) 最終打ち合わせ、(16) カタログのデザイン計画、写真撮影計画、(17) 会場にての展示作業、(18) 会場サイン設置、(19) 実際の展示作業、(20) 講評会	対面

専門科目【工芸領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTK01	陶磁造形演習I	2	1.0	1・2	春C 夏季休業中	水1 集中	5C111	齋藤 敏寿	作陶家、工芸家、研究者、教育者等養成の為、土(粘土)から陶磁へ変化するシステムの理解と応用をテーマとして、実材主義的造形の立場から作品制作の理論と研究を行う。	芸術系棟B-138研究室にて授業を行う。 対面 授業時間外に窯焼成管理の時間等の自己管理が必須である。
OATTK02	陶磁造形演習II	2	1.0	1・2	秋AB	水1	5C111	齋藤 敏寿	作陶家、工芸家、造形作家、研究者、教育者等養成の為、陶磁による造形に関して理論と制作から実践的に研究し、高度な表現を通して修得させる。	芸術系棟B-138研究室にて授業を行う。 対面 授業時間外に窯焼成管理の時間等の自己管理が必須である。
OATTK11	陶磁造形論特講	1	1.0	1・2	春AB	水1	5C111	齋藤 敏寿	作陶家、工芸家、研究者、教育者等養成の為、土(粘土)から陶磁へ変化するシステムの理解と応用をテーマとして、実材主義的造形の立場から作品制作の理論を講述する。	芸術系棟B-138研究室にて授業を行う。 対面
OATTK21	木材造形演習	2	2.0	1・2	春ABC 夏季休業中	水2 集中	工房 C101	宮原 克人	授業の到達目標及びテーマ:作品制作を通して木の造形について理解する。各自のテーマに基づき木材の特性を生かした造形表現を行う。 授業の概要:各自テーマを設定し、具体的な作品制作を通して木材造形の研究を行う。 授業計画:(1) ガイダンス、(2) 形態の検討、(3) 素材の検討、(4) 制作方法の検討、(5) 模型制作、(6) 模型作品の検討、(7) 作図、(8) 図面の検討、(9) 制作(木取りについて)、(10) 制作(機械加工について1)、(11) 制作(機械加工について2)、(12) 制作(機械加工について3)、(13) 制作(機械加工について4)、(14) 制作(機械加工について5)、(15) 制作(塗装について1)、(16) 制作(塗装について2)、(17) 制作(プレゼン方法について1)、(18) 制作(プレゼン方法について2)、(19) 発表、(20) まとめ	対面

OATTK31	ガラス造形演習	2	2.0	1・2	春ABC	随時	工房 C102	鄭 然 暉	授業の到達目標及びテーマ:造形思考を強化していくために各自扱う素材とガラス素材を組み合わせ制作を行い、自身の研究を深める。 授業の概要:ガラス素材と自身の研究と関連させて実制作を行い、自身が扱う素材との違いを体験する。 授業計画:(1) ガイダンス、課題説明、(2) 作品のエスキースチェックとアドバイス、(3) テストピース制作1 原型を基に石膏型作成、ガラスを詰めて焼成、(4) テストピース制作2 焼成後の加工と実制作のアイデアを固める、(5) 実制作のスケッチチェックとアドバイス、(6) 実制作1 各自扱う素材でパーツ制作、(7) 実制作2 原型を基に石膏型作成、ガラスを詰めて焼成、(8) 実制作3 焼成後の加工と仕上げ、(9) 実制作4 各自の素材で制作された作品とガラス作品を調整し完成させる、(10) 作品講評	学群においてガラスの授業を履修済みのこと。他大学からの入学者等に関しては条件付きで受講可。ガラス特別演習合わせて受講すること。ガイダンスはmanabaの掲示で知らせる。 対面
OATTK41	ガラス特別演習	2	2.0	1・2	春ABC	随時	工房 C102	鄭 然 暉	授業の到達目標及びテーマ:ガラスを素材とした造形作品に関する国内・海外の文献・資料を題材にして組成や技法、歴史について発表後討議を行い、ガラス造形作品について専門的知識を身に付ける。 授業の概要:ガラス造形作品についての知見を広める。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) ガラス素材の組成について1 熱膨張係数について、(3) ガラス素材の組成について2 成分について、(4) ガラス素材の技法について1 ホットワークについて、(5) ガラス素材の技法について2 コールドワークについて、(6) ガラス素材の技法について3 フラットワークについて、(7) ガラス造形作品の歴史について1 古代からアールヌーヴォー以前まで、(8) ガラス造形作品の歴史について2 アールヌーヴォーからスタジオグラス運動まで、(9) ガラス造形作品の歴史について3 スタジオグラス運動以降、(10) 総評	対面
OATTK51	漆芸演習	2	2.0	1・2	春ABC 夏季休業中	火5 集中		宮原 克人	授業の到達目標及びテーマ:漆芸の技法・知識を理解する。課題に基づき漆芸の特性を生かした造形表現を理解する。 授業の概要:漆芸の基礎的な技術(乾漆、蒔絵、螺鈿)を習得し、各自の表現を試みる。 授業計画:(1) ガイダンス、(2) 素地について、(3) 素地の制作方法について、(4) 漆について、(5) 漆の取り扱い方法について、(6) 素地制作(木)、(7) 素地制作(粘土)、(8) 様々な漆芸技法について、(9) 漆芸制作(乾漆技法:型作成)、(10) 漆芸制作(乾漆技法:型仕上げ)、(11) 漆芸制作(乾漆技法:布着せ)、(12) 漆芸制作(乾漆技法:下地)、(13) 漆芸制作(乾漆技法:きゆう漆)、(14) 漆芸制作(呂色上げ技法)、(15) 漆芸制作(塗り立て技法)、(16) 漆芸制作(加飾方法:沈金)、(17) 漆芸制作(加飾方法:蒔絵)、(18) 漆芸制作(加飾方法:螺鈿)、(19) 発表、(20) まとめ	教室:6B106 対面

専門科目【ビジュアルデザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTL01	視覚伝達設計論特講	1	1.0	1・2	秋ABC	随時	6A208	原 忠信	視覚伝達デザインにおける遊戯性についてとりあげ、ワークショップ、ゲームなど参加型の授業を通じて課題発見力、課題解決力、プレゼンテーション力を養う。遊びとデザインを主題に、関連する作家、方法、ケーススタディについての概説、およびワークショップを行い、プレゼンテーションでは履修生が考案したワークショップやゲームを実施する。 授業計画:(1) [オリエンテーション]授業全体の説明、(2) プレインストーミングとゲームストーミング、(3) 子供の遊び、(4) 大人の遊び、(5) 経験設計の概念、(6) ユーザーエクスペリエンスとサービスデザイン、(7) 遊び体験のデザイン、(8) ワークショップ、ゲーム発表(グループ1)、(9) ワークショップ、ゲーム発表(グループ2)、(10) ワークショップ、ゲーム発表(グループ3)	対面

OATTL11	視覚伝達設計演習	2	2.0	1・2	春ABC 夏季休業 中	木2 集中	6A208	原 忠信	視覚伝達デザインにおける素材・物質性を主題に、実践的な視覚伝達デザインの考察力と表現力を身につける。 授業計画：(1) [オリエンテーション、課題1] 授業全体の説明、ブレインストーミングの方法、(2) [課題1] 事例紹介、ブレインストーミング、(3) [課題1] 課題の提出と講評、(4) [課題1] 課題の提出と講評、(5) [課題2] 課題2に関するオリエンテーション、(6) [課題2] ブレインストーミング、(7) [課題2] 中間チェック1(コンセプト、アイデア)、(8) [課題2] 中間チェック2(スケッチ、モックアップ)、(9) [課題2] プレゼンテーション1、(10) [課題2] 中間チェック3(フィードバック、ブラッシュアップ)、(11) [課題2] プレゼンテーション2(作品提出、講評)、(12) [課題2] 展示に向けたオリエンテーション、(13) [課題2] 展示プラン中間チェック1、(14) [課題2] 展示プラン中間チェック2、(15) [課題2] 作品の展示、プレゼンテーション、講評、集中：製紙工場の見学、展覧会の視察、ワークショップ等	対面
OATTL21	グラフィックデザイン演習A	2	1.0	1・2	春AB	木4	5C514	田中 佐代子	各受講者の研究テーマに基づくビジュアルデザインの発展的な考察・立案を主題とし、研究発表用スライド、名刺、年表の制作を通して専門的で高度なビジュアルデザインの考察ができるようになる。 課題1: タイポグラフィとレイアウト[名刺のデザイン] 課題2: プレゼンテーション用スライドデータのビジュアルデザイン[自己紹介と研究紹介] 課題3: 年表のデザイン(仮)	対面
OATTL22	グラフィックデザイン演習B	2	1.0	1・2	秋AB	木4	5C514	田中 佐代子	平面的な媒体に関する発展的なテーマの課題制作を通して、専門的で高度なビジュアルデザインの表現力を身につける。 課題1: 広告デザイン(毎日広告デザイン賞) 課題2: 冊子の企画とデザイン	対面
OATTL31	画像表現論特講	1	2.0	1・2	春AB	金5.6	6A203	山本 美希	デザイン、美術、サブカルチャーなどを横断的に探索しつつ、画像表現(絵による表現)の特質、意義、可能性について議論を通じて理解を深める。 [テーマ1] コロナ禍におけるイラストレーション [テーマ2] 本の特質を生かした作品例 [テーマ3] イラストレーション史、絵本史、マンガ史 [テーマ4] 絵本表現、マンガ表現 [テーマ5] 言葉のない絵本における物語表現	対面
OATTL41	画像表現演習	2	1.0	1・2	秋AB	火3	6A203	山本 美希	デザイン、美術、サブカルチャー等多様に広がる画像表現(絵による表現)について、制作を通してその可能性を探る。受講者の研究テーマに応じた制作を行い、幅広い表現方法を学ぶ。 [課題1] 装丁デザイン [課題2] アブストラクトコミック・ナンセンスコミック [課題3] アニメーション [課題4] リソグラフ印刷 [課題5] 仕掛けのある本	対面
OATTL42	フォトメディア演習A	2	1.0	1・2	夏季休業 中	随時		MCLEOD Roderick	フォトメディア(1826-1899)の歴史について、日光写真、カメラオプスキュラ、ピンホールカメラなどの実用的な作業を通して学びます。 We will learn about the history of photomedia (1826-1899) through practical tasks, such as making sunprints, camera obscuras, pinhole cameras.	英語で授業。This class is in English. 教室：B343, 6A304 対面
OATTL43	フォトメディア演習B	2	1.0	1・2	秋AB	木5	6A208	MCLEOD Roderick	フォトメディア(1900-現代)の歴史について、ポラロイド、フィルム写真、デジタルメディアなどの実用的な作業を通して学びます。 We will learn about the history of photomedia (1900-today) through practical tasks, such as Polaroid, film photography, digital media.	英語で授業。This class is in English. 対面
OATTL44	フォトメディア論特講	1	1.0	1・2	秋AB	水2		MCLEOD Roderick	フォトメディアの現代的な問題を探究し、研究のためにカメラを使用する際の特徴、意義、可能性について検討します。 Exploring contemporary issues in photomedia, we will examine the characteristics, significance and possibilities of using cameras for research.	英語で授業。This class is in English. オンライン(同時双方向型)

OATTL51	ビジュアル・コミュニケーション演習	2	1.0	1・2						実践的なビジュアル・コミュニケーションの発想力、制作力、評価方法を身につける。 学外からデザイナー等を講師として招き、実践的活動を踏まえたビジュアル・コミュニケーションの発想、制作、評価などについて学ぶ。 授業計画：(1) [オリエンテーション] 授業全体の説明、(2) [課題1] 「ビジュアル・コミュニケーションの発想力」に関する課題説明、(3) [課題1] 中間発表、(4) [課題1] 発表及び講評、(5) [課題2] 「ビジュアル・コミュニケーションの制作力」に関する課題説明、(6) [課題2] 中間発表、(7) [課題2] 発表及び講評、(8) [課題3] 「ビジュアル・コミュニケーションの評価方法」に関する課題説明、(9) [課題3] 中間発表、(10) [課題3] 発表及び講評	英語で授業。This class is in English. 西暦奇数年度開講。 対面
---------	-------------------	---	-----	-----	--	--	--	--	--	---	--

専門科目【環境デザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATTP01	環境デザイン論特講	1	2.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ：環境デザインの多様な課題と総合的な設計論について理解する。 授業の概要：公共空間、商業・業務施設、住宅地における総合的なサイトプランニング手法とプレイスメイキング手法を論述。 授業計画：(1) 街路の課題と滞留環境のデザイン手法、(2) 公園の課題と多面的利用環境のデザイン手法、(3) 公共施設の課題と多面的利用環境のデザイン手法、(4) 商業施設の課題と公的利用環境のデザイン手法、(5) 業務施設の課題と創造的な仕事環境のデザイン手法、(6) 公的施設の課題と創造的な場づくりの手法、(7) 住宅団地の課題と共用環境のデザイン手法、(8) 住宅の課題とインテリア環境のデザイン手法、(9) プレイスメイキングの実施と枠組み環境のデザイン手法、(10) 現代の環境デザインの多様性について	西暦奇数年度開講。 対面
OATTP11	パッシブデザイン論特講	1	2.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ：「自然環境と調和した建築・都市デザイン」の実現に向け、そのための基礎理論と手法を理解し、習得する。 授業の概要：建築及び都市におけるパッシブデザインの手法・原理・課題について講述する。 授業計画：(1) ガイダンス、(2) 屋根のデザイン、(3) 壁のデザイン、(4) 床の断熱・蓄熱、(5) 開口部と日射のコントロール、(6) 屋光の有効利用、(7) 換気と通風、(8) 地形の利用、(9) 樹木によるコントロール、(10) まとめ	西暦奇数年度開講。 対面
OATTP21	都市・地域デザイン論特講	1	2.0	1・2	春AB	火4,5	5C301	野中 勝利	授業の到達目標及びテーマ：現在の都市が抱える諸問題を実態的に把握し、都市づくりやまちづくりにおける計画や設計について、その果たすべき役割や責任を考察することにより、計画論としての複眼的な問題意識を確立するとともに、論理的な思考とその表現方法を獲得する。 授業の概要：都市や地域におけるまちづくりの実態、計画・設計に関わる制度論や方法論について、ケーススタディを用いて考察と講述を行う。後半はテーマに応じた受講生の発表をもとに議論する。 授業計画：(1) 現在の都市が抱える様相と都市づくりの課題、(2) 中心市街地の実態、(3) 東京都心の問題、(4) 都市居住と居住環境、(5) 都市景観と居住環境、(6) 都市デザインと都市景観、(7) まちづくりと都市デザイン、(8) 都市計画と規制緩和、(9) 都市づくりの合意形成、(10) 都市の将来像	西暦偶数年度開講。

0ATTP31	ランドスケープデザイン論特講	1	2.0	1・2	春AB	月3.4	5C618	藤田 直子	授業の到達目標及びテーマ:人間活動が景観構造・生産的機能・生態的過程にどのような影響を与え、それらを変化させるのか、人の感性や文化を含めたランドスケープの総体の理解を通して、自然域から都市域まで様々な場におけるランドスケープの構造・機能・変化過程を解明する方法を習得する。さらに生産的プロセスや社会的プロセスとランドスケープデザインとの関係や、それを踏まえたエコロジカルデザインの手法を習得する。 授業の概要:田園(農村部)や都市のランドスケープ構造を、エコロジカルな視点で読み解くことに主眼を置き、歴史や実態、ケーススタディを用いた考察と講述を行う。後半はテーマに応じた受講生の発表をもとに議論する。 授業計画:(1)ランドスケープデザインの概念と領域、(2)エコロジカル・ランドスケープ1(自然)、(3)エコロジカル・ランドスケープ2(土地利用)、(4)田園とランドスケープ、(5)都市とランドスケープ、(6)公園・緑地のデザイン、(7)庭園・広場のデザイン、(8)ランドスケープデザインの手法、(9)ランドスケープデザインを支える仕組み、(10)ランドスケープデザインの意義と課題	西暦偶数年度開講。
0ATTP41	環境デザイン演習1	2	2.0	1	春AB	木6,集中	芸術B441	藤田 直子, 渡和由, 野中 勝利, 橋本 剛, 菅野 圭祐	授業の到達目標及びテーマ:環境デザインに関する課題設定、コンセプト、構想、計画、デザインにかかる一連のプロセス、表現方法について習得する。 授業の概要:環境デザインにかかわる具体的な課題をもとに計画、設計、デザインを実践的に行う。 授業計画:(1)課題の提示、関連事例の解説、(2)現地調査、敷地条件の確認、(3)設計指導1(コンセプト、構想)、(4)設計指導2(構想、計画)、(5)設計指導3(基本計画・エスキス模型)、(6)中間発表、講評、(7)設計指導4(基本計画、設計)、(8)設計指導5(基本設計)、(9)設計指導6(基本設計、模型)、(10)提出、発表、講評	対面
0ATTP42	環境デザイン演習2	2	2.0	1	秋AB	木6,集中	芸術B441	藤田 直子, 渡和由, 野中 勝利, 橋本 剛, 菅野 圭祐	授業の到達目標及びテーマ:環境デザインに関する課題設定、コンセプト、構想、計画、デザインにかかる一連のプロセス、表現方法について習得する。 授業の概要:環境デザインにかかわる具体的な課題をもとに計画、設計、デザインを実践的に行う。 授業計画:(1)課題の提示、関連事例の解説、(2)現地調査、敷地条件の確認、(3)設計指導1(コンセプト、構想)、(4)設計指導2(構想、計画)、(5)設計指導3(基本計画・エスキス模型)、(6)中間発表、講評、(7)設計指導4(基本計画、設計)、(8)設計指導5(基本設計)、(9)設計指導6(基本設計、模型)、(10)提出、発表、講評	オンライン(同時双方向型)

専門科目【領域共通】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0ATTX01	創造的復興:ローカルデザイン特別演習1	2	2.0	1・2	春AB	金5,6	6A208	宮原 克人, 齋藤 敏寿, 鄭 然暻, 原 忠信, 村上 史明	授業の到達目標及びテーマ:地域・社会における課題解決を考えることで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つなぐ力、突破力を身につけることを目的とする。 授業の概要:地域において、地域再生に向けたプランを計画・提案することで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つなぐ力、突破力を身につけ、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。 授業計画:(1)ガイダンス、(2)ブレインストーミング、班分け、課題抽出、(3)課題解決に向けたリサーチ(地域性)、(4)課題解決に向けたリサーチ(創造性)、(5)リサーチのまとめ、(6)中間発表会、(7)リサーチを踏まえた課題解決のための立案、(8)立案したプランの実施準備(日程)、(9)立案したプランの実施準備(方法)、(10)最終発表会	対面

OATTX02	創造的復興：ローカルデザイン特別演習II	2	2.0	1・2	秋AB	随時	6A208	宮原 克人、齋藤敏寿、鄭 然暎、原忠信、村上 史明	<p>授業の到達目標及びテーマ：「創造的復興：ローカルデザイン特別演習II」において、地域・社会の課題解決を考え、創造的で柔軟な思考方法について学んだ。それらを継続しつつ地域・社会の課題解決に関わる新たな視点を獲得し、情報発信力、つなぐ力、突破力、継続力を身につけることを目的とする。</p> <p>授業の概要：「創造的復興：ローカルデザイン特別演習II」において実施した地域再生に向けたプランを評価し、新たなプランを計画・提案することで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つなぐ力、突破力、継続力を身につけ、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。</p> <p>授業計画：(1) ガイダンス、(2) プレインストミング、班分け、「創造的復興：ローカルデザイン特別演習II」「創造的復興：チャレンジ学外特別演習II」で実施した活動の評価、(3) 課題解決に向けたリサーチ(地域性)、(4) 課題解決に向けたリサーチ(創造性)、(5) リサーチのまとめ、(6) 中間発表会、(7) リサーチを踏まえた課題解決のための立案、(8) 立案したプランの実施準備(日程)、(9) 立案したプランの実施準備(方法)、(10) 最終発表会</p>	対面
OATTX11	創造的復興：チャレンジ学外特別演習I	2	2.0	1・2	秋ABC	随時	6A208	宮原 克人、齋藤敏寿、鄭 然暎、原忠信、村上 史明	<p>授業の到達目標及びテーマ：創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得し、複眼的視点で復興支援を捉えることの出来る情報発信力、つなぐ力、突破力を備えた人材の育成を目標とする。</p> <p>授業の概要：地域の課題に対し、地域再生に向けたプランを実施する。その中で、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得し、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。</p> <p>授業計画：「創造的復興：ローカルデザイン特別演習II」において立案した課題解決プランに基づき、地域においてイベント等を実践する。(班ごとに実施内容が異なるため、計画例を以下に示す)</p> <p>(1) 「創造的復興：ローカルデザイン特別演習II」における課題解決プランの確認、(2) 地域(人・場所・日程)との調整1、(3) 地域(人・場所・日程)との調整2、(4) イベント実施場所の確認、(5) イベント進行の確認、役割分担について1、(6) イベント進行の確認、役割分担について2、(7) イベント実施場所における会場設置準備1、(8) イベント実施場所における会場設置準備2、(9) イベントにおける展示発表準備1、(10) イベントにおける展示発表準備2、(11) イベントの最終調整(開催場所や地域において)、(12) イベント会場の設置1、(13) イベント会場の設置2、(14) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)1、(15) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)2、(16) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)3、(17) 実施場所の片付け、(18) イベント総括、(19) 最終報告会(全チームによる)、(20) 全体のまとめ</p>	対面

OATTX12	創造的復興:チャレンジ学外特別演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	随時	6A208	宮原 克人, 齋藤敏寿, 鄭 然暲, 原忠信, 村上 史明	<p>授業の到達目標及びテーマ:「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」において、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得した。継続して課題に取り組み、複眼的視点で復興支援を捉えることの出来る情報発信力、つなぐ力、突破力、継続力を備えた人材の育成を目標とする。</p> <p>授業の概要:「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」において実施した地域再生に向けたプランを評価し、新たなプランを計画・提案することで、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的・継続的に習得し、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。</p> <p>授業計画:「創造的復興:ローカルデザイン特別演習II」において立案した課題解決プランに基づき、地域においてイベント等を実践する。(班ごとに実施内容が異なるため、計画例を以下に示す)</p> <p>(1)「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」で実施した活動の評価、(2)「創造的復興:ローカルデザイン特別演習II」における課題解決プランの確認、(3) 地域(人・場所・日程)との調整、(4) イベント実施場所の確認、(5) イベント進行の確認、役割分担について1、(6) イベント進行の確認、役割分担について2、(7) イベント実施場所における会場設営準備1、(8) イベント実施場所における会場設営準備2、(9) イベントにおける展示発表準備1、(10) イベントにおける展示発表準備2、(11) イベントの最終調整(開催場所や地域において)、(12) イベント会場の設営1、(13) イベント会場の設営2、(14) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)1、(15) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)2、(16) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)3、(17) 実施場所の片付け、(18) イベント総括、(19) 最終報告会(全チームによる)、(20) 全体のまとめ</p>	対面
OATTX21	研究・制作発表特別演習I	2	2.0	1	通年	随時	大原 央聡, 星 美加, 鄭 然暲, 山本美希, 林 みちこ, 水野 裕史, 宮坂 慎司, MCLEOD Roderick, 藤田 直子, 内藤 定壽, 太田 圭, 國安 孝昌, 渡 和由, 長田 年弘, 福満 正志郎, 野中 勝利, 寺門 臨太郎, 齋藤 敏寿, 石崎 和宏, 仏山 輝美, 直江 俊雄, 程塚 敏明, 菅野 智明, 田中 佐代子, 田島 直樹, 宮原 克人, 山本浩之, 原 忠信, 橋本 剛, 村上 史明, 上浦 佑太, 小野 裕子, 尾川 明穂, 吉田 奈穂子, 高橋 佑太, 川島 史也, 武田 一文, 菅野 圭祐, 諏訪 智美	授業を通して行った研究や作品制作について、その成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション力や自己の研究を客観的に分析する力を養う。	芸術学学位プログラム・芸術専攻の学生に限る。対面	

OATTX22	研究・制作発表特別演習11	2	2.0	2	通年	随時	<p>大原 央聡, 星 美加, 鄭 然暲, 山本美希, 林 みちこ, 水野 裕史, 宮坂 慎司, MCLEOD Roderick, 藤田 直子, 内藤 定壽, 太田 圭, 國安 孝昌, 渡 和由, 長田 年弘, 福満 正志郎, 野中 勝利, 寺門 臨太郎, 齋藤 敏壽, 石崎 和宏, 仏山 輝美, 直江 俊雄, 程塚 敏明, 菅野 智明, 田中 佐代子, 田島 直樹, 宮原 克人, 山本浩之, 原 忠信, 橋本 剛, 村上 史明, 上浦 佑太, 小野 裕子, 尾川 明穂, 吉田 奈穂子, 高橋 佑太, 川島 史也, 武田 一文, 菅野 圭祐, 諏訪 智美</p>	<p>授業を通して行った研究や作品制作について、その成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション力や自己の研究を客観的に分析する力を養い、修了研究へとつなげていく。 ※指導体制については「研究・制作発表特別演習11」と同じ</p>	<p>芸術学学位プログラム・芸術専攻の学生に限る。 対面</p>
OATTX31	芸術学学位プログラム特別演習	2	3.0	1	通年	随時	<p>大原 央聡, 太田 圭, 長田 年弘, 菅野 智明, 國安 孝昌, 田島 直樹, 田中 佐代子, 内藤 定壽, 直江 俊雄, 野中 勝利, 橋本 剛, 藤田 直子, 仏山 輝美, 尾川 明穂, 齋藤 敏壽, 鄭 然暲, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 原 忠信, 福満 正志郎, 程塚 敏明, 宮原 克人, 山本 浩之, 山本 美希, 渡 和由, 小野 裕子, 上浦 佑太, 川島 史也, 菅野 圭祐, 高橋 佑太, 武田 一文, 星 美加, MCLEOD Roderick, 水野 裕史, 宮坂 慎司, 村上 史明, 吉田 奈穂子, 石崎 和宏, 山本 早里, 諏訪 智美</p>	<p>造形芸術に関して、各専門領域における研究の実践指導を行う。また、併せて、指導教員等から研究倫理に関する指導を行う。</p>	<p>芸術学学位プログラムの学生に限る。 対面</p>

OATTX32	芸術学学位プログラム 特別研究	2	3.0	2	通年	随時	<p>大原 央聡, 太田 圭, 長田 年弘, 菅野 智明, 國安 孝昌, 田島 直樹, 田中 佐代子, 内藤 定壽, 直江 俊雄, 野中 勝利, 橋本 剛, 藤田 直子, 仏山 輝美, 尾川 明穂, 齋藤 敏寿, 鄭然暲, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 原 忠信, 福満 正志郎, 程塚 敏明, 宮原 克人, 山本 浩之, 山本 美希, 渡和由, 小野 裕子, 上浦 佑太, 川島 史也, 菅野 圭祐, 高橋 佑太, 武田 一文, 星 美加, MCLEOD Roderick, 水野 裕史, 宮坂 慎司, 村上 史明, 吉田 奈穂子, 石崎 和宏, 山本 早里, 諏訪 智美</p>	<p>造形芸術について、各専門領域に対応した修了研究の実践指導を行う。併せて、指導教員等から研究倫理に関する指導を行う。研究倫理についても理解を深める。また、社会人学生に対しては職務の状況に合わせて個別指導を行う等、柔軟に対応する(14条対応)。</p>	<p>芸術学学位プログラムの学生に限る。 14条対応、対面</p>
---------	--------------------	---	-----	---	----	----	---	---	---------------------------------------